

令和7年度 文化人材バンク
学校出前講座
～ おかやま子どもみらい塾 ～
報 告 書

令和8年3月

岡山県・公益社団法人岡山県文化連盟



和気町立佐伯中学校 (箏曲)



矢掛町立中川小学校 (ミュージカル)



笠岡市立笠岡西中学校 (着付け)



岡山市立藤田中学校 (吹奏楽・金管楽器)



美作市立作東中学校 (書写)



岡山市立妹尾中学校 (油絵)



鏡野町立奥津小学校 (三味線)



岡山県立岡山南支援学校 (器楽)



新庄村立新庄小学校 (陶芸)



岡山市立高島小学校 (合奏)



倉敷市立児島小学校 (選択・茶道)



津山市立広戸小学校 (合唱)



倉敷市立下津井中学校 (投扇興)



和気町立佐伯小学校 (作文)



津山市立一宮小学校 (和太鼓)

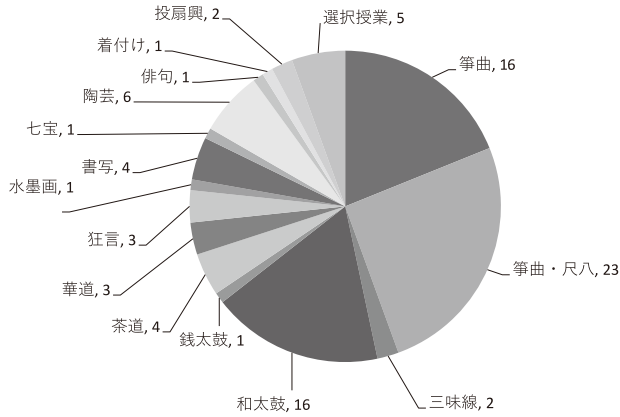
「文化人材バンク学校出前講座～おかやま子どもみらい塾～」事業は、子どもたちが文化に親しみ、文化への関心をもつきっかけづくりとするための事業です。岡山県からの委託を受けた公益社団法人岡山県文化連盟が企画運営を行い、学校出前講座を実施することで、文化活動の裾野拡大と将来の地域文化の担い手育成に努めています。

学校出前講座の伝統文化部門（箏曲、和太鼓、陶芸など）では、延べ16分野、延べ89校の利用が、一般芸術文化部門（合唱、吹奏楽、話し方など）では、延べ12分野、延べ58校の利用がありました。

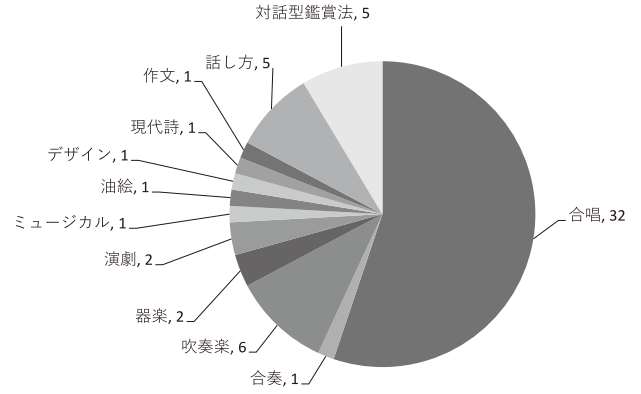
なお、事業実施にあたり、格別のご支援をいただきました公益財団法人福武教育文化振興財団様に深甚なる感謝の意を捧げます。

■令和7年度学校出前講座利用状況■

【伝統文化部門 全89講座】

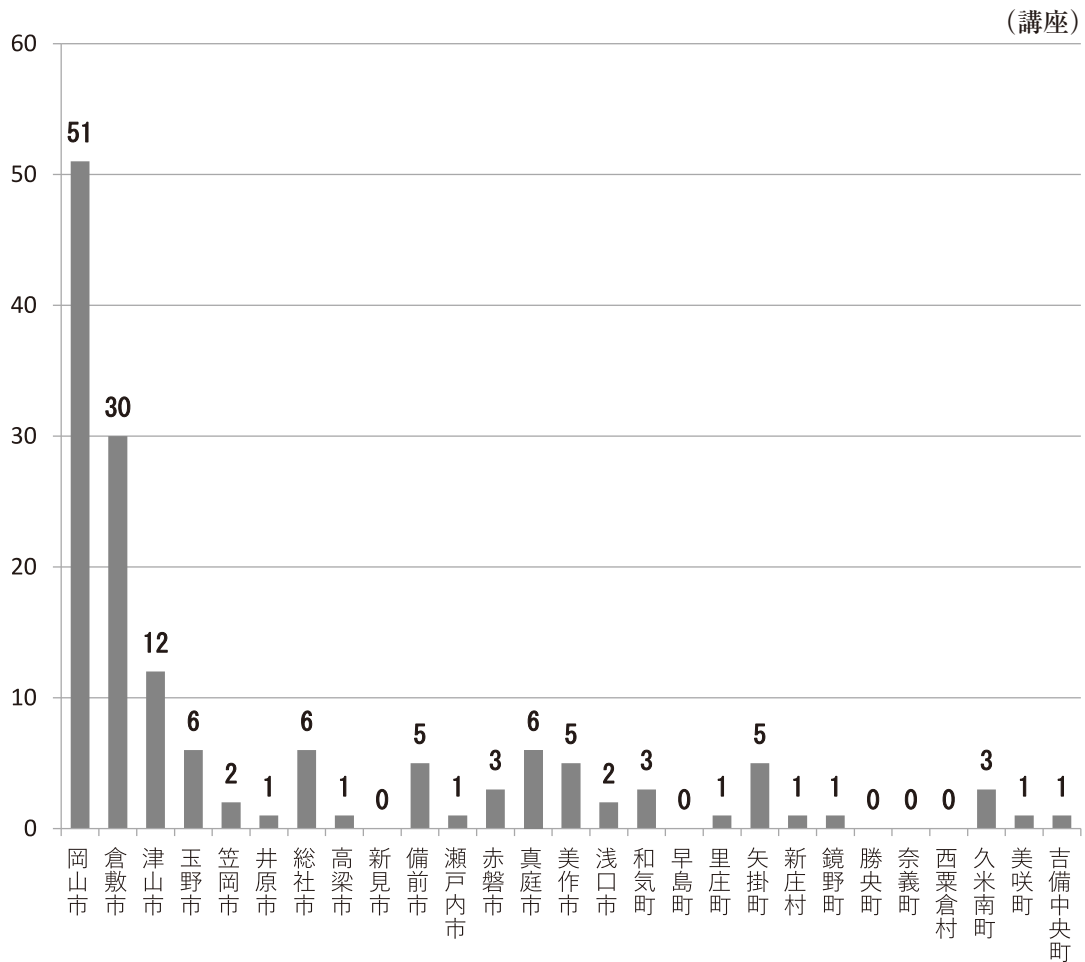


【一般文化芸術部門 全58講座】



※申請数の増加から「箏曲」および「箏曲・尺八」は講座数の制限を設け、厳正な抽選により開催校を決定いたしました。抽選後に不採択となった学校へは第二希望の講座を受け付け実施しております。

【市町村別講座数】



■伝統文化部門■

【箏曲】

(行政順・日程順)

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 旭操小学校	目 標	4年生「日本の音楽でつながろう」では、箏・三味線・三線で演奏された楽曲を鑑賞する。いずれも親しみのない楽器なので、映像で見ても興味がもてない児童が多い。そこで箏曲の体験をすることで興味をもたせたい。
		講 師	木村 倫子
		対象者	4年生 77名
		日 時	令和7年11月25日(火) 8:50～11:35
		内 容	・講師による演奏の鑑賞 ・楽器や用具の説明、演奏の仕方の説明 ・1～2名で1面の箏を使い「さくらさくら」の演奏体験
		成 果	箏の生の音を聞くことで、音色の美しさをより感じる事ができた。糸の強さを実感するとともに、音の大きさや音色の美しさを実感できた。当日は、欠席者が多かったので、一人あたりの体験時間が長くてとても満足していた。発表会で「さくらさくら」を歌ったのでより深い学びとなった。
2	岡山市立 富山小学校	目 標	箏の演奏を聞いたり、実際に楽器に触れたりすることで、音楽的感性を育てる。
		講 師	狩野 章定、菅田 章喜
		対象者	4年生 113名
		日 時	令和8年1月20日(火) 8:40～12:15
		内 容	・箏の楽器説明 ・箏の演奏鑑賞 ・演奏体験
		成 果	生の演奏を聞いたり話を聞いたりすることで、箏の音色のすばらしさや繊細さを感じることができた。また、演奏体験をすることで、日本に古くから伝わる箏の音色に親しみ、その良さに気付くことができた。なじみの少ない楽器に親しむことができるかどうか不安だったが、講師の指導のおかげで、児童は楽しく学習することができた。
3	岡山市立 芳田小学校	目 標	めったに触れることのない箏の響きや旋律の美しさを味わいながら鑑賞したり、実際に演奏体験をしたりすることで、日本の音楽の良さに気付き、和楽器に興味をもつことができるようにする。
		講 師	三上 澄之、三上 歌舞
		対象者	4年生 69名
		日 時	令和8年1月26日(月) 9:40～11:35
		内 容	①箏の説明(各部の名称、演奏方法、爪のつけ方、座り方、楽譜の読み方) ②講師の演奏を鑑賞 ③箏の演奏体験「さくらさくら」を練習 ④ミニ発表会(まとめとして「さくらさくら」を全員で演奏)
		成 果	子どもたちはタブレットで箏の練習をしたり、楽譜を暗譜したりして予習をしていたので、生の箏の演奏に興味深く鑑賞していた。短時間であったが、集中して練習に取り組んで、全員「さくらさくら」を演奏することができた。もっと弾いてみたいと多くの児童が言っていた。
4	倉敷市立 帯江小学校	目 標	箏の基本的な奏法を学ぶ。箏の音色に親しむ。
		講 師	森 祥子
		対象者	4年生 106名
		日 時	①令和7年6月6日(金) 9:35～11:30 ②令和7年6月9日(月) 9:35～11:30
		内 容	「さくらさくら」の演奏体験と、講師による「春の海」演奏鑑賞。
		成 果	「さくらさくら」を最後まで演奏することができるようになった。流し爪奏法も教わり美しい箏の音色を味わうことができた。
5	倉敷市立 水島小学校	目 標	日本に古くから伝わる楽器・箏を体験させ、生演奏の良さを味わいながら聞く。
		講 師	森 祥子
		対象者	4年生 14名
		日 時	令和7年9月5日(金) 10:45～12:25
		内 容	・箏で「さくらさくら」の演奏体験 ・箏の歴史について学習 ・箏(講師)、ピアノ(教員)、歌(児童)のコラボレーション体験
		成 果	ほとんどの児童が「さくらさくら」を最後まで演奏することができるようになり、日本の音楽の良さを体験できた。
6	倉敷市立 第三福田小学校	目 標	日本の伝統的な楽器、箏を使用し「さくらさくら」を演奏する。楽器の仕組みや演奏方法を習得し、音色や合奏する魅力を味わう。
		講 師	仲達 泉
		対象者	4年生 28名
		日 時	令和8年1月14日(水) 10:45～12:25
		内 容	・箏の仕組み、演奏方法の説明 ・「さくらさくら」を3人1組で交代しながら演奏体験
		成 果	他校から箏10面を借りての体験。最終的に「さくらさくら」を講師の伴奏に合わせて演奏することができるようになり、箏の良さを肌で感じる事ができた。
7	倉敷市立 上成小学校	目 標	音楽科の題材「日本の音楽でつながろう」において、CDやDVDで鑑賞するのではなく、生の箏の音色を味わわせたい。また、箏の演奏法を指導していただき、全員が箏の演奏を体験し「さくらさくら」を演奏できるようにしたい。
		講 師	仲達 泉
		対象者	4年生 65名
		日 時	①令和8年1月30日(金) 14:00～15:40 ②令和8年2月5日(木) 13:40～15:20
		内 容	・講師による生演奏「さよならの夏～コクリコ坂から～」の鑑賞 ・箏についての基礎知識と基本的な奏法の指導 ・「さくらさくら」の演奏指導(姿勢や弦を爪で弾く奏法、リズムや呼吸について) ・全員で「さくらさくら」の合奏
		成 果	講師の生演奏で、箏の音色の魅力を味わうことができ、児童は一気に惹きこまれた。親指につけた爪で基本的な奏法を一人ずつ丁寧に指導してもらい、その後「さくらさくら」がすぐに演奏できるようになり、達成感を味わうことができた。講師と合奏もでき、さらに箏の楽しさ、魅力を感じる事ができた。

番号	学校名	講座詳細	
8	玉野市立 田井小学校	目 標	音楽鑑賞の授業で学習した箏を実際に演奏することで、日本の伝統的な楽器への興味・関心を深める。
		講 師	三上 美涼、三上 澄美
		対象者	4年生64名
		日 時	令和8年1月22日(木)10:40～12:20
		内 容	爪のつけ方や座る位置、絃の名前を教えてもらったあと、「さくらさくら」を講師に教えてもらいながら演奏した。最後に講師による「春の海」の演奏を聞いた。
成 果	実際に体験することで箏に親しむことができた。演奏する技能だけでなく、和楽器への関心を深めることができた。		
9	笠岡市立 北川小学校	目 標	箏の演奏を鑑賞したり実際に演奏体験をしたりすることで、日本の伝統文化に親しみ、その良さを体感する。
		講 師	菊津優 珠美
		対象者	4年生10名
		日 時	①令和7年6月24日(火)9:35～10:20 ②令和7年6月26日(木)9:35～10:20
		内 容	・「さくらさくら」の演奏を鑑賞 ・楽器(箏)の説明 ・「さくらさくら」の演奏体験 ・「さくらさくら」の合奏
成 果	2日間に分けて丁寧に指導していただいたことで、どの児童も思う存分箏に触れることができ、達成感を得られた。また、箏の生演奏を聞いたり、実際に「さくらさくら」を演奏できたりしたこととで、日本の伝統音楽の良さを感じることができた。		
10	総社市立 常盤小学校	目 標	音楽の授業における邦楽体験。
		講 師	内藤 育子
		対象者	5年生146名
		日 時	令和7年12月16日(火)9:15～12:00、13:05～14:40
		内 容	一人ひとりが箏に触れ、楽器の構造や奏法について理解を深める。講師に演奏していただき、箏の音色や響きに興味をもち、グループに分かれて実技指導をしていただく。学習のまとめとして、リレー形式で演奏し、ふり返りをする。
成 果	箏に触れることで日本の伝統楽器を身近に感じることができた。実際に箏爪をつけて練習することで意欲的に取り組む姿もみられ、グループに分かれて実技指導をしていただき「さくらさくら」を演奏することができた。		
11	総社市立 阿曾小学校	目 標	日本の伝統楽器である箏に親しみ、「さくらさくら」を演奏できる技術を習得する。
		講 師	内藤 育子
		対象者	4～6年生59名
		日 時	令和8年1月21日(水)9:35～14:20
		内 容	・楽器の説明 ・講師による演奏(校歌、さくらさくら、春の海) ・「さくらさくら」の演奏体験 ・グループで演奏発表
成 果	受講した児童の多くは箏に触れるのが初めてであったが、集中力をもって取り組む姿が見られた。講師の協力によって1人1面(あるいは2人1面)という充実した練習環境が確保され、ほぼ全ての児童が「さくらさくら」を演奏できたことは、大きな成功体験となった。		
12	真庭市立 樫邑小学校	目 標	和楽器に触れ、日本に古くから伝わる音楽に親しむとともに、発表会での演奏を目指し、それに向け努力する力を育む。
		講 師	渋谷 光子
		対象者	3～6年生6名
		日 時	①令和7年10月20日(月)9:40～10:25 ②令和7年10月22日(水)11:40～12:25 ③令和7年10月27日(月)9:40～10:25 ④令和7年10月29日(水)11:40～12:25
		内 容	箏についての基礎知識を学んだ後、「さくらさくら」の演奏体験。
成 果	一人ひとりが集中して練習に取り組み、難しい伴奏にも自ら向上心をもって取り組むことができた。講師のプラスの声掛けが児童の自信にもつながった。		
13	真庭市立 中和小学校	目 標	5・6年生の音楽の授業において、箏の演奏を聞いたり、演奏を体験したりする活動を通して、日本の伝統的な音楽に親しみをもたせるとともに、豊かな情操を養う。
		講 師	渋谷 光子
		対象者	5・6年生7名
		日 時	①令和7年10月24日(金)10:30～12:10 ②令和7年10月31日(金)10:30～12:10
		内 容	・講義 箏の特徴や歴史について、箏曲「さくらさくら」について ・実技 「さくらさくら」の演奏
成 果	日本の伝統的な楽器である箏の特徴や歴史を理解するとともに、実際に箏を演奏することを通して、日本の伝統文化に親しみ、そのすばらしさを体感することができた。さらに、一人ひとりが「さくらさくら」を演奏できるようになり、全校児童、教員の前で発表する活動を通して、達成感を味わうことができた。		
14	真庭市立 米来小学校	目 標	日本文化体験での箏の演奏を通じて、和楽器の音色の美しさを感じ取ることができる。
		講 師	渋谷 光子
		対象者	5・6年生11名
		日 時	①令和7年11月11日(火)14:00～15:00 ②令和7年11月18日(火)13:30～15:00 ③令和7年11月25日(火)13:30～15:00
		内 容	・箏についての説明(各部の名称、歴史、弾き方など) ・箏の演奏「さくらさくら」
成 果	5・6年生11名の児童で箏の演奏を行った。初めての児童もいて、初めは弾き方に戸惑う様子も見られたが、練習を重ねていくうちに、上達していった。全員でリズムに合わせて、演奏を行うことができた。		

番号	学校名	講座詳細	
15	真庭市立 落合小学校	目 標	日本の音楽の良さや日本楽器の美しさを味わいながら聞いたり、楽しんで演奏したりすることができるようにする。
		講 師	豊岡 朗子
		対象者	5年生 25名
		日 時	令和8年1月23日(金) 10:40～12:20
		内 容	「さくらさくら」の演奏体験。
成 果	基本的な座り方や弦の弾き方などを最初に教えていただき、子どもたちは最後まで集中して演奏を楽しんでいた。		
16	和気町立 佐伯中学校	目 標	箏の演奏体験をする。
		講 師	熱田 みはる
		対象者	2年生 16名
		日 時	令和7年11月6日(木) 11:50～12:40
		内 容	「さくらさくら」を2人組で練習し、演奏する。
成 果	本物の箏に感動し、とても意欲的に演奏していた。日本の伝統音楽に触れることができた。		

【箏曲・尺八】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 岡山後楽館中学校	目 標	日本の伝統音楽の良さを味わい、楽しむ。楽器に触れ、音を出すことで和楽器を身近に感じる。
		講 師	[箏曲] 小山 東洋子 [尺八] 黒住 素山
		対象者	1年生 75名
		日 時	令和7年11月13日(木) 13:25～15:15
		内 容	・講師演奏の鑑賞「春の海」「さくら舞曲」 ・楽器説明 ・ワークショップ(演奏体験)
成 果	生徒は邦楽に関心をもち、授業に臨むことができた。また、箏や尺八に触れ、音を出すことの楽しさや奥深さを体験することができた。		
2	岡山市立 興除小学校	目 標	箏曲や尺八の演奏を聞いたり演奏したりする体験を通して、箏や尺八の音色に興味や関心をもつ。基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わう。
		講 師	[箏曲] 荒川 智子 [尺八] 井藤 侃山
		対象者	5年生 55名
		日 時	令和7年10月2日(木) 10:50～12:30
		内 容	箏・尺八の演奏体験と、講師による生演奏の鑑賞。
成 果	音楽活動への意欲を高め、さまざまな音楽に親しもうという思いをもつことができた。また、音楽を味わって聞き、箏と尺八の音色の特徴をとらえ、進んで表現することができた。		
3	岡山市立 箕島小学校	目 標	日本古来の楽器である箏、尺八の体験をすることで、和の音色に興味をもつことができる。
		講 師	[箏曲] 荒川 智子 [尺八] 佐藤 秩山
		対象者	6年生 47名
		日 時	令和7年12月16日(火) 13:30～15:35
		内 容	・箏・尺八の演奏を聞く ・2～3人組になり、箏の演奏を体験する ・尺八を実際に吹いてみる
成 果	箏、尺八の音色を理解でき、興味・関心をもって体験活動することができた。		
4	岡山市立 宇野小学校	目 標	箏や尺八の本物の音色に間近で触れることで、日本の伝統音楽の美しさを体感し、日本文化への興味や関心を高める。
		講 師	[箏曲] 狩野 章定、菅田 章喜 [尺八] 藤原 匠山、黒住 素山
		対象者	5年生 175名
		日 時	令和8年1月13日(火) 8:55～14:50
		内 容	・講師による「春の海」模範演奏の鑑賞 ・和楽器(箏・尺八)の仕組みと音色の特徴についての学習 ・箏・尺八の試奏体験
成 果	箏と尺八の生演奏を間近で聞き、音色の美しさや響きに感動する姿が見られた。初めて和楽器に触れる児童が多く、音を出すのが難しい尺八に苦戦しながらも講師の丁寧な指導により音が出たときの達成感を味わうことができた。箏では、練習を重ねるうちに「さくらさくら」の旋律がつながっていき、喜びを味わうことができた。		
5	岡山市立 操南小学校	目 標	音楽の「日本の音楽に親しもう」の題材のなかで、箏曲と尺八の体験学習を行い、日本の文化の良さに触れ、邦楽の学習を深めていきたい。
		講 師	[箏曲] 木村 倫子 [尺八] 松本 慧山
		対象者	5年生 72名
		日 時	令和8年1月20日(火) 9:40～12:20
		内 容	・「春の海」の鑑賞(15分程度) ・箏と尺八の演奏体験(2グループに分かれて15分ずつ)
成 果	演奏を生で聞いたり、実際に演奏したりすることで和楽器に興味をもつことができた。箏と尺八を初めて演奏する児童がほとんどだったので、和楽器をより身近に感じ、親しみをもつことができた。		
6	岡山市立 福田小学校	目 標	和楽器の響きの美しさや日本の音楽の良さを味わいながら聞いたり、実際に体験することで、日本の音楽に親しむ。
		講 師	[箏曲] 安立 裕子、中川 博子 [尺八] 加東 吹山
		対象者	5年生 120名
		日 時	令和8年1月22日(木) 8:45～12:20
		内 容	・楽器の説明 ・講師による演奏「春の海」鑑賞 ・箏・尺八の演奏体験
成 果	本物の箏や尺八の音色に児童が聞き入っていた。演奏体験では、指の動きや息遣いに苦戦しながらも何度も挑戦したり、友だちの様子を見て試したりする姿が見られた。		

番号	学校名	講座詳細	
7	岡山市立 大野小学校	目 標	本校には箏や尺八がない。本物の和楽器に触れる体験を通して、日本の伝統文化に親しみ今後も文化を大切にすることを育てたい。
		講 師	[箏曲] 安立 裕子 [尺八] 塩治 尺山
		対象者	5年生 69名
		日 時	令和8年2月6日(金) 10:50～12:30
		内 容	講師による「春の海」の演奏鑑賞の後、2グループに分かれて箏と尺八の演奏を体験。
8	倉敷市立 船穂小学校	成 果	どの児童も熱心に箏で「さくらさくら」の指導を受け、楽しみながら演奏をした。尺八では、音を出す難しさを体験しながら、息の入れ方や強さを工夫し音の出た際の喜びを感じることができた。
		目 標	和楽器(旋律楽器)の演奏を聞いたり体験したりすることで、伝統楽器に親しみ日本の音楽を愛する心情を育てる。特に、伝統楽器の雰囲気や抑揚を感じながら演奏体験をすることで、その良さを肌で感じとらせたい。
		講 師	[箏曲] 仲達 泉 [尺八] 井藤 侃山
		対象者	4年生 79名
		日 時	令和7年6月27日(金) 8:40～12:25
9	倉敷市立 中島小学校	内 容	箏曲では「さくらさくら」を演奏し、講師のアレンジと、ピアノとのアンサンブル演奏体験をして達成感を感じることができた。また、姿勢や指の動かし方を細かく指導いただいた。尺八ではビニール管の尺八で演奏体験をした。講師演奏による「春の海」を鑑賞し、箏とピアノで「さよならの夏～コクリコ坂から～」の演奏も鑑賞した。
		成 果	丁寧に指導していただき、良い音で「さくらさくら」を最後まで演奏することができた。箏、尺八それぞれの楽器についての知識を深めたり、和楽器の音色を肌で感じることができ、親しみをもつことができた。
		目 標	箏、尺八の生演奏を聞き演奏体験をすることで、日本の音楽に興味や関心をもつ。
		講 師	[箏曲] 渡谷 元子、湊 紀子 [尺八] 井藤 侃山
		対象者	5年生 177名
10	倉敷市立 第五福田小学校	日 時	令和7年9月1日(月) 9:30～12:20、13:35～15:15
		内 容	・講師による演奏「春の海」を鑑賞 ・箏と尺八の楽器説明 ・箏と尺八の演奏体験(「さくらさくら」の演奏、音の出し方)
		成 果	箏と尺八の演奏体験を通して楽器に対する興味や関心が高まった。また、間近で演奏を聞いて箏や尺八の音色の良さや特徴を生で味わうことができた。
		目 標	日本の楽器の音色の美しさに触れるとともに、体験することによって、親しみをもつことができるようにする。
		講 師	[箏曲] 森 祥子 [尺八] 佐藤 秧山
11	倉敷市立 連島北小学校	対象者	5年生 37名
		日 時	令和7年11月10日(月) 10:50～12:20
		内 容	・講師による演奏「春の海」を鑑賞 ・楽器紹介(歴史や材質など) ・箏と尺八の演奏体験 ・質疑応答、感想発表
		成 果	生演奏のすばらしさにどの児童も触れることができた。また、演奏体験を通して、楽器への興味をもったり、「できた」を感じる事ができた。
		目 標	日本の音楽に親しむため、旋律楽器として和楽器を中学年で取り上げている。楽器演奏の体験、合奏をさせたい。
12	倉敷市立 西阿知小学校	講 師	[箏曲] 仲達 泉 [尺八] 佐藤 秧山
		対象者	4年生 9名
		日 時	令和7年12月12日(金) 10:45～12:20
		内 容	・講師による演奏の鑑賞「春の海」「アンパンマンマーチ」 ・半数に分かれて箏・尺八の演奏体験 ・「さくらさくら」を箏で合奏
		成 果	短時間で練習だったが、友だちと協力しながら一生懸命演奏に取り組むことができた。箏曲・尺八に実際に触れ、子どもたちの生き生きとした姿が見られた。
13	倉敷市立 赤崎小学校	目 標	普段触れることのない和楽器をプロの演奏や指導を通して実際に触れることにより、和楽器を身近に感じ、興味を深める。生の演奏の音色の良さや演奏の難しさを知る。
		講 師	[箏曲] 安立 裕子、栗坂 祐子 [尺八] 井藤 侃山、荒川 菊山
		対象者	6年生 187名
		日 時	①令和8年1月8日(木) 9:35～12:25 ②令和8年1月9日(金) 9:35～12:25
		内 容	・講師紹介、楽器の説明 ・講師の演奏による「春の海」鑑賞 ・半数ずつに分かれて箏と尺八の演奏体験。全員が両方の演奏を体験する
13	倉敷市立 赤崎小学校	成 果	実際に楽器を演奏し、その難しさを体験することで、講師の演奏のすばらしさを感じた児童が多かった。また、聞いているだけではわからない音の変化や工夫、姿勢や音の出し方の違いを体験でき「またやってみたい」など、和楽器への興味が高まるとともに、三学期の音楽授業に生かしていける勉強ができた。
		目 標	箏と尺八の鑑賞を通して日本古来の伝統的な楽器の音色に親しみ、実際に演奏することで和楽器への関心を高める。
		講 師	[箏曲] 森 祥子 [尺八] 大森 勢山
		対象者	5年生 64名
		日 時	令和8年1月9日(金) 9:35～11:30
13	倉敷市立 赤崎小学校	内 容	・講師による演奏の鑑賞「さくらさくら」「春の海」 ・箏と尺八の演奏体験
		成 果	実際に楽器を演奏することができたので、子どもたちは大変意欲的に取り組むことができた。「もっとやりたかった」「音が出なくてくやしい」などの感想もあり、子どもたちにとって良い体験の機会になった。

番号	学校名	講座詳細	
14	倉敷市立 大高小学校	目 標	和楽器の演奏を聞いたり、体験したりすることで、日本の音楽に親しむ。
		講 師	[箏曲] 渡谷 元子、湊 紀子 [尺八] 丸野 怜山
		対象者	6年生 144名
		日 時	令和8年1月9日(金) 9:35～12:25、13:50～15:30
		内 容	・「春の海」鑑賞 ・楽器、楽曲の解説 ・箏と尺八の体験
		成 果	・演奏を聞いたり体験したりすることで、日本の音楽や和楽器に興味をもち、もっと知りたい、調べてみたいという意欲がわいた ・演奏の仕方や、いろいろな奏法を知ることができた
15	倉敷市立 華高小学校	目 標	和楽器の演奏を聞いたり、体験したりすることで、日本の音楽に親しむ。
		講 師	[箏曲] 森 祥子 [尺八] 大森 勢山
		対象者	4年生 88名
		日 時	令和8年1月15日(木) 9:40～12:30
		内 容	・講師による演奏の鑑賞「さくらさくら」 ・箏と尺八の演奏体験
		成 果	箏・尺八の生演奏を聞き、実際に楽器の演奏体験をする活動のなかで、和楽器を身近に感じ興味を深めることができた。講師もわかりやすく教えてくださり、4年生も楽しく学習することができた。
16	倉敷市立 菅生小学校	目 標	日本に古くから伝わる楽器の生の音や演奏を聞き、体験することで、日本文化への親しみや、興味や関心を高める。
		講 師	[箏曲] 渡谷 元子 [尺八] 丸野 怜山
		対象者	6年生 71名
		日 時	令和8年1月20日(火) 9:35～11:30
		内 容	講師による演奏「春の海」を鑑賞後、箏と尺八のグループに分かれて演奏体験(15分で交代)。最後に全体で振り返り。
		成 果	生演奏では、どの児童も華麗な運指や迫力ある音に聞きほれ、興味や関心を大きく高めることにつながった。和楽器に触れるときは、講師のアドバイスを聞き、熱心に実技に取り組む姿が見られた。
17	倉敷市立 玉島小学校	目 標	本物に触れる体験を通して、和楽器の音色の良さを感じ取ることができる。また、箏の爪のつけ方や箏に対しての身体の構え方、手の位置、音を鳴らす時のコツなど、基本的な演奏の仕方を知り、箏に親しむことができる。
		講 師	[箏曲] 渡谷 元子 [尺八] 丸野 怜山
		対象者	4年生 70名
		日 時	令和8年2月6日(金) 10:45～12:25、13:35～15:15
		内 容	講師による「春の海」の演奏。箏と尺八のグループに分かれて、それぞれの楽器の説明と基本的な奏法の説明。箏は「さくらさくら」を2～3人で1面を使って演奏した。尺八は名前の由来や歴史、指遣いの説明後、練習用の尺八を1人1本で、息を入れて音を出す練習をした。
		成 果	初めての和楽器の体験で、一人ひとりが一生懸命取り組んでいた。箏は「さくらさくら」の曲をなんとか最後まで演奏することができ、左手を使った演奏も試し、みんなで合奏を楽しんでいた。尺八は音を出すのも大変な様子だったが、くり返し息を入れながら一生懸命取り組んでいた。体験後の授業で、箏の演奏映像を鑑賞したとき、左手の奏法にも気付いていたので、体験したことが生きていた。「春の海」は5年生の鑑賞教材だが、今年の5年生も1年前に聞いたことをよく覚えていたようで、初めて聞くよりも聞き取りが良く、生演奏を聞くことは大切だと感じた。
18	津山市立 向陽小学校	目 標	5年生の音楽で「日本の音楽に親しもう」という単元がある。本物の楽器を見て生演奏を聞き、実際に体験することで理解を深めたい。
		講 師	[箏曲] 中川 博子 [尺八] 加東 吹山
		対象者	5年生 30名
		日 時	令和7年12月8日(月) 9:30～12:10
		内 容	「春の海」鑑賞(講師による生演奏)、その後15名ずつ分かれて、 ・箏曲…部位の名称などの説明→「さくらさくら」演奏体験→合奏(パートを3つにして) ・尺八…部位の名称、種類、歴史の講義→音出し体験
		成 果	1クラスだったが30名と人数が多いため、3時間(45分×3コマ)の申請でゆっくり体験ができた。箏曲「さくらさくら」においては1面を2人で使用していたが、メロディーを弾いていない児童にも簡単な合奏を取り入れてくださり、飽きることなく全員ができた。尺八も音が出せる子が増えた。
19	玉野市立 玉原小学校	目 標	日常では触れることのできない日本の伝統的な楽器を通じて、視野を広げたり美しい音色が人に笑顔を与えてくれるという体験をする。
		講 師	[箏曲] 三上 美涼 [尺八] 藤原 匠山
		対象者	5年生 22名
		日 時	令和7年7月10日(木) 10:50～12:25
		内 容	・講師による箏と尺八の生演奏鑑賞 ・箏と尺八の演奏体験
		成 果	箏を演奏することができるようになり、尺八を実際に触って音を出すことができるようになった。
20	総社市立 総社東小学校	目 標	箏や尺八といった和楽器に触れ、演奏を聞いたり実際に体験することを通して、日本の伝統的な和楽器の音色の良さに気付き、奏法を知って演奏する楽しさを感じることができるようにする。
		講 師	[箏曲] 内藤 育子 [尺八] 荒川 菊山
		対象者	5年生 59名
		日 時	令和8年1月27日(火) 13:40～15:15
		内 容	・講師による箏と尺八の生演奏の鑑賞 ・箏曲「さくらさくら」の演奏体験 ・尺八の演奏体験
		成 果	模範演奏を聞いたことで、和楽器の音色の美しさに気付くことができた。また、演奏体験を通して、音を出すことの難しさに気付き、粘り強く練習に取り組む姿勢が生まれ、最後にはきれいな音で演奏ができた。

番号	学校名	講座詳細	
21	総社市立 総社北小学校	目 標	和楽器の響きと旋律の美しさを味わう。
		講 師	[箏曲] 内藤 育子 [尺八] 荒川 菊山
		対象者	5年生27名
		日 時	令和8年2月10日(火)9:40～11:20
		内 容	・箏曲と尺八の演奏鑑賞 ・箏と尺八の演奏体験
成 果	箏を弾いたり、尺八を吹いたりすることで、伝統的な楽器に多くの児童が興味をもつことができた。		
22	里庄町立 里庄東小学校	目 標	邦楽(箏、尺八)の生演奏を聞いたり楽器の仕組みを教わったりしながら、和楽器の興味や関心を高める。
		講 師	[箏曲] 三上 之都 [尺八] 石田 輝山
		対象者	5年生53名
		日 時	令和8年1月20日(火)9:25～11:15
		内 容	・講師による演奏を鑑賞「春の海」 ・箏の演奏体験「さくらさくら」 ・尺八の紹介、塩ビ管の尺八で演奏体験
成 果	演奏のコツなど、講師の丁寧でわかりやすい指導で、児童は挑戦心をもって練習できた。「演奏できるようになって嬉しかった」「また体験したい」「みんなと合わせて演奏して楽しかった」などの声が多く寄せられた。楽器の紹介も興味深く、話を集中して聞くことができた。貴重な体験となった。		
23	久米南町立 誕生寺小学校	目 標	日本の音楽の良さや楽器の響きの美しさを味わいながら聞いたり、楽器の音色を生かして演奏したりできるようにする。
		講 師	[箏曲] 三上 澄之 [尺八] 塩治 尺山
		対象者	4年生7名
		日 時	令和8年1月13日(火)9:35～11:25
		内 容	・和楽器の話 ・わらべうたの演奏体験
成 果	普段触れることのない箏を実際に体験して、興味をもち、箏や尺八の楽しさ、演奏の楽しさを感じられた児童が多かった。また、音色を味わう児童も多く、和楽器への関心が高まった。		

【三味線】

番号	学校名	講座詳細	
1	津山市立 加茂小学校	目 標	「日本の音楽でつながろう」の単元学習。実際に楽器に触れることで理解を深め、日本の音楽を身近に感じる。
		講 師	三上 澄之、三上 歌舞
		対象者	4年生22名
		日 時	令和7年6月25日(水)10:45～12:25
		内 容	・講師による演奏の鑑賞 ・三味線についての説明 ・「さくらさくら」の演奏体験
成 果	初めての試みだったので不安があったが、適切な指導で大変楽しく充実した講座となった。子どもたちは三味線に興味津々で達成感があった。		
2	鏡野町立 奥津小学校	目 標	日本の伝統的な音楽や楽器に触れ、音色や音楽に親しみ豊かな心を育てる。
		講 師	三上 澄之、三上 歌舞
		対象者	6年生15名
		日 時	令和7年7月1日(火)13:35～15:10
		内 容	・三味線を弾くときの持ち方、構え方(指のかけ方やばちの持ち方) ・基本的な奏法 ・基本的な曲の練習など
成 果	三味線に初めて触れ、演奏することで楽器の良さや表現の奥深さを体感している様子だった。		

【和太鼓】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 可知小学校	目 標	日本文化を体験的に学んだり、リズムの楽しさを感じたりする。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	5・6年生130名
		日 時	①令和7年6月3日(火)9:35～11:45 ②令和7年7月1日(火)9:35～11:45
		内 容	友だちと交流しながら、色々なリズムで動きをつけ和太鼓をたたく活動を行った。また、2回目終了後には、全校にお披露目の演奏会を行った。
成 果	日本文化への興味が深まり、リズムの楽しさを感じることで音楽への関心も高めることができた。		
2	岡山市立 操明小学校	目 標	放課後における安全・安心な居場所づくりの一環として、子どもたちに人気と関心の高い和太鼓の体験学習を通して、明るく健やかな子どもの成長の機会を地域と学校の協働で一体となって提供する。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	全学年48名(放課後子ども教室)
		日 時	①令和7年6月6日(金)16:00～17:00 ②令和7年9月5日(金)16:00～17:00 ③令和7年10月3日(金)16:00～17:00 ④令和8年2月6日(金)16:00～17:00
		内 容	日本の伝統楽器である和太鼓の親しみ方、学習の心構えや礼儀作法から演奏の姿勢動作、ばちの使い方の基本、リズムのとり方など基本作法を初心者でもわかるように指導いただいた。
成 果	和太鼓の学習を通して、演技技法について洗練された丁寧な指導法で子どもの心をつかみ、楽しみながらも学びがあり、上達も早かった。操明学区のふれあい行事である「桜まつり」や「敬労会」に和太鼓教室として出演し、地域の方からも喜ばれている。		

番号	学校名	講座詳細	
3	岡山市立 庄内小学校	目 標	・日本に古くから伝わる伝統文化に触れ、その良さに気付くとともに大切にしていこうとする態度を育てる ・和太鼓の奏法を学び、合奏の中で基礎的な奏法や姿勢で演奏できる
		講 師	塩尻 司
		対象者	5年生 76名
		日 時	①令和7年6月12日(木) 9:40～11:30 ②令和7年9月26日(金) 9:40～11:30
		内 容	・和太鼓についての説明、たたき方、模範演奏 ・合奏曲「ソーラン節」の和太鼓パート
		成 果	伝統文化の良さに気付き、これからも大切にしていこうとする気持ちをもつとともに、和太鼓の音色や迫力を発表会の合奏でも生かしていこうとする意欲を高めることができた。
4	岡山市立 御津南小学校	目 標	指導を通して、和太鼓を演奏する技術を身に付け、友だちと音をそろえることができる。和太鼓を通じて、礼儀作法を身に付ける。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	6年生 23名
		日 時	①令和7年6月27日(金) 9:40～10:40 ②令和7年10月9日(木) 9:40～11:40 ③令和7年10月31日(金) 9:40～10:40
		内 容	・和太鼓の演奏指導 ・礼儀作法の指導
		成 果	和太鼓の音がそろって喜びと全員で演奏する楽しさを練習を通して味わうことができた。地域の行事や学習発表会で迫力のある演奏を披露することができた。
5	岡山市立 古都小学校	目 標	昨年に引き続き"子どもたちの元気な太鼓演奏で地元の祭りを盛り上げてほしい"と、太鼓演奏の出演依頼があった。地域の伝統でもある「古都音頭」を次世代に引き継ぐと同時に、可能な限り子どもたちに和太鼓演奏体験の機会を設けたい。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	3・4年生 10名(放課後児童クラブ)
		日 時	①令和7年7月22日(火) 14:00～15:00 ②令和7年8月7日(木) 9:30～10:30 ③令和7年8月20日(水) 13:00～14:00 ④令和7年8月21日(木) 9:30～10:30
		内 容	今年度は中学年の児童が練習に参加した。曲目ごとに演奏する児童の立ち位置を変えることで互いに競い合いながらも協力し合うことができた。練習を重ねるうちに、太鼓の音が一つに重なり合う勇壮な演奏となった。地元を受け継がれてきた「古都音頭」、明るく元気な「みんながみんな英雄」、本格的な太鼓囃子の「豊地」それぞれの曲調に合わせた表現ができるようになった。同時に、和太鼓の基本所作、日本古来のお辞儀なども丁寧に指導いただいた。
		成 果	「ぶどうの里古都ふれあい祭り」に向けて開催間近の4日間4時間で練習を行った。猛暑のなかでの練習だったが、空調の効いた室内だったので体調不良になる児童も出ず、講師の指導のもと練習に集中することができた。練習日後半には校長先生やこども園の園長先生からも「日を追うごとに音が一つになっていくのがよくなりました」との言葉をいただき、児童の頑張りが沢山の方に伝わっていたことが実感できた。 また、児童の集中力と協調性、汗を流しながらも練習を継続する強い精神力の成長が太鼓をたたく姿から感じられ、良い経験につながった。
6	岡山市立 加茂小学校	目 標	和太鼓の生演奏を聞いたり、楽器に触れたりすることで、日本の伝統文化・音楽を身近に感じ、興味や関心をもたせる。
		講 師	塩尻 司
		対象者	5年生 39名
		日 時	令和8年1月20日(火) 10:50～12:30
		内 容	・和太鼓の説明と演奏の仕方 ・「飛翔」演奏指導
		成 果	・伝統文化に直接触れることで、その良さに気付き、大切にしていこうとする気持ちをもつことができた ・全員が真剣に和太鼓の演奏に向き合う姿が見られた
7	倉敷市立 柏島小学校	目 標	学校の和太鼓の数が少ないため、授業では1人ずつの演奏しかできない。児童が30人いるので、たくさんの和太鼓の音を同時に響かせる経験をすることで、迫力のある動きや和太鼓の音を実感し、人と合わせた演奏の良さに気付くことができる。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	3年生 30名
		日 時	令和7年9月26日(金) 13:50～15:20
		内 容	・和太鼓の奏法やリズムのとり方 ・和太鼓の演奏指導 ・曲に合わせての振り付け
		成 果	初めて和太鼓に触れる児童も多く、児童全員笑顔満点で指導を受けていた。先生の指導がとてもすばらしく、児童の興味がより増したように思う。今回の内容が11月開催の学習発表会で保護者への発表としてできるようにして下さったので、とてもありがたかった。
8	倉敷市立 琴浦南小学校	目 標	「日本の音楽でつながろう」の題材において、日本の伝統芸能である和太鼓について学び、実際の演奏を体験する。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	4年生 33名
		日 時	令和8年1月21日(水) 10:45～12:15
		内 容	伝統的な芸能の稽古による和太鼓体験。 1.日本のお辞儀 正座での礼 2.日本のあいさつ 日本語の使い方 3.和太鼓の打ち方 基礎 4.曲を仕上げる 太鼓のリズム練習 5.発表
		成 果	講師のテンポのよい声かけと、絵カードを使った実践で、短時間のうちに児童は声の出し方、構え、姿勢、打ち方など、身体全体を使って無理なく演奏することができた。和太鼓について興味関心が深まった。

番号	学校名	講座詳細	
9	津山市立 一宮小学校	目 標	和太鼓の音色や歴史に触れることで日本の音楽文化、伝統楽器に親しみをもつ。
		講 師	塩尻 司
		対象者	5年生 76名
		日 時	令和7年10月22日(水) 9:35～12:25
		内 容	・講師による実演 ・和太鼓の歴史、材質、奏法についての話 ・演奏体験と合奏
成 果	和太鼓に触れることが初めての児童が多いなかで、音色や響き、また難しさを感じながらも最後まで演奏したいという気持ちをもって曲を演奏し、和太鼓に親しむことができた。		
10	津山市立 鶴山小学校	目 標	和太鼓の文化を知ったり、たたいたりする体験をすることで、日本の音楽に親しみ楽器の良さを知る。
		講 師	塩尻 司
		対象者	5年生 37名
		日 時	令和7年12月9日(火) 10:40～12:20
		内 容	・和太鼓、世界の太鼓の歴史や文化の説明 ・和太鼓の演奏体験
成 果	一人ひとりが集中して話を聞き、リズムよくたたこうと一生懸命取り組む姿がみられた。最初はなかなか音が合わなかったが、次第に合うにつれて全員で息を合わせて演奏する心地良さを知り、達成感を味わうことができた。		
11	津山市立 弥生小学校	目 標	普段経験できない和太鼓の魅力や、大きな音がそろうこと(心も)を学ばせたい。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	6年生 59名
		日 時	令和7年12月16日(火) 9:30～11:30
		内 容	和太鼓のたたき方、所作の説明。
成 果	子どもたちはとても楽しみにしていて、真剣に話を聞き、取り組むことができた。なかなか体験できないことを通して、心も豊かに育ってくれるはずである。		
12	総社市立 秦小学校	目 標	音楽の学習「打楽器」において、和太鼓に触れることで打楽器への理解を深める。
		講 師	塩尻 司
		対象者	4年生 15名
		日 時	令和7年9月2日(火) 10:35～12:10
		内 容	・和太鼓の歴史について ・リズム打ち体験と講師が作曲した曲の演奏体験
成 果	実際に和太鼓に触れることで楽しみながら学ぶことができた。短い曲を演奏し達成感を得ることができた。		
13	備前市立 三石小学校	目 標	和太鼓演奏体験を通して、日本文化への興味を高めるとともに、学習発表会で披露できるよう技術の向上を目指す。
		講 師	塩尻 司
		対象者	6年生 11名
		日 時	①令和7年9月30日(火) 9:35～10:20 ②令和7年10月17日(金) 9:35～10:20 ③令和7年10月28日(火) 9:35～10:20 ④令和7年11月7日(金) 9:35～10:20
		内 容	・和太鼓の歴史と特徴の学習 ・演奏の指導、作法、礼儀の学習
成 果	児童が互いに教え合ったり、協力して取り組んだりする姿が見られ、和太鼓を通して絆が深まった。また、自分から進んで練習に取り組む姿が多く見られ自主性が育った。		
14	赤磐市立 城南小学校	目 標	学習のなかで、和太鼓の演奏に児童が意欲をもって取り組み、和楽器の良さを感じるとともに、人前で披露する表現力を高める。
		講 師	塩尻 司
		対象者	6年生 11名
		日 時	①令和7年9月5日(金) 10:45～11:45 ②令和7年10月10日(金) 10:45～11:45 ③令和7年10月24日(金) 10:45～11:45 ④令和7年11月6日(木) 10:45～11:45
		内 容	・和太鼓の歴史や太鼓の音もつ意味についての講話 ・正しい姿勢で拍を打つことなどの基礎的な練習の指導 ・音に心をこめること、表現することの大切さなどを含めた演奏指導
成 果	和太鼓の音がそろう喜びと全員で演奏する良さを練習を通して味わうことができた。人前で演奏することに恥ずかしさがある児童もいたが、学習発表会での演奏披露は本人たちの成功体験となり表現力も向上した。		
15	矢掛町立 小田小学校	目 標	学習発表会での発表を目標に、礼儀作法の習得や、和太鼓の演奏の仕方、表現の仕方を身に付けるとともに、小田地区の「武苔太鼓」を伝承していく心情や態度を育てる。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	5・6年生 30名
		日 時	①令和7年9月4日(木) 9:30～10:30 ②令和7年10月7日(火) 9:30～10:30 ③令和7年10月24日(金) 9:30～10:30 ④令和7年11月6日(木) 9:30～10:30
		内 容	・和太鼓の演奏の仕方、表現の仕方 ・基本的な礼儀作法(あいさつ) ・「武苔太鼓」を伝承していく心構えについて
成 果	6年生は昨年度の経験を生かして、自信をもって演奏したり、5年生に教えたりする姿が見られた。5年生も伝統を受け継ぐ思いをもって、和太鼓に向き合うことができた。		

番号	学校名	講座詳細	
16	なかよし保育園	目 標	和太鼓を通じて礼儀作法を身に付け、和太鼓を演奏する楽しさを知り、みんなでひとつのことに取り組む楽しさや達成感を味わう。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	5歳児 30名
		日 時	①令和7年6月11日(水) 10:00～11:00 ②令和7年7月11日(金) 10:00～11:00 ③令和7年7月25日(金) 10:00～11:00 ④令和7年8月6日(水) 10:00～11:00
		内 容	・和太鼓の礼儀、所作、あいさつの仕方 ・和太鼓のたたき方(姿勢、構えなど) ・音楽に合わせての和太鼓演奏
		成 果	・所作や基本的な姿勢は少しずつ意識できるようになり身に付いた ・みんなで音を合わせる楽しさを味わい意欲的に参加する子どもが増えた ・苦手意識がある子どもも和太鼓の楽しさを知り、一所懸命に演奏する姿が見られた

【銭太鼓】

番号	学校名	講座詳細	
1	高梁市立 福地小学校	目 標	地域の指導者から銭太鼓を習い始めて12年目であり、学校の伝統となっている。プロフェッショナルの講師から本格的な指導を受けることで児童の技術と意欲の向上を図り、より深い達成感を味わわせたい。また、児童が地域貢献として地域の方に銭太鼓の演技を楽しんでもらうことで、自己表現に自信をつけさせたい。
		講 師	宮坂 一樹
		対象者	全学年 13名
		日 時	①令和7年9月24日(水) 10:40～11:25 ②令和7年10月8日(水) 10:40～11:25 ③令和7年10月29日(水) 10:40～11:25 ④令和7年11月19日(水) 10:40～11:25
		内 容	銭太鼓の技術指導(「Rising Sun」「お祭りマンボ」と、人前で演技することの楽しさや価値について児童に伝える。
		成 果	今年度も児童の希望を取り入れて、実態に合った振り付けを考えてくださった。練習のたびに、児童の達成状況に合わせて曲や振り付けを工夫していただくなど、熱心に教えていただいた。また、的確なアドバイスをいただき、意欲的に練習に取り組めた。児童の技術は大きく向上し、自信をもって演技ができた。

【茶道】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 西小学校	目 標	茶道を通じて、相手を思いやる心、感謝する心を育てる。日本文化の奥深さと良さを理解できるようにする。
		講 師	岡田 宗幹
		対象者	4～6年生 26名(クラブ活動)
		日 時	①令和7年6月10日(火) 14:45～15:30 ②令和7年6月24日(火) 14:45～15:30 ③令和7年9月16日(火) 14:45～15:30 ④令和7年10月14日(火) 14:45～15:30
		内 容	茶道の初歩の盆略点前のお稽古をした。帛紗捌きはクロームブックにアップロードして各自で練習し、講師が来られるときは実際にお茶を点てるようにした。
		成 果	時間内に盆略点前が点てられるようになった。講師からお茶の礼儀の意味を教えていただき、茶道の奥深さを理解できた。
2	倉敷市立 本荘小学校	目 標	古くから伝わってきた日本文化に触れることで、その時代の人々の思いや考えに興味や関心をもつことができるようにする。
		講 師	旭爪 宗都
		対象者	5・6年生 40名
		日 時	①令和7年10月9日(木) 10:45～12:15 ②令和7年10月10日(金) 13:30～15:00
		内 容	お茶の心「和敬静寂」についてお話いただき、普段の生活における心構えを教えていただく。また、実際にお茶を飲む体験もさせていただき、充実した時間となった。
		成 果	子どもたちは大満足の様子だった。講座前と後では、話を聞く姿勢も変化し、今後の生活につなげていきたいと思う。
3	矢掛町立 三谷小学校	目 標	室町文化のひとつとしての茶道体験を通じて、歴史のおもしろさ、先人の智恵、礼儀作法などについて学ばせたい。
		講 師	森 晃朗
		対象者	6年生 12名
		日 時	令和7年11月7日(金) 10:40～12:15
		内 容	・茶道の歴史 ・お茶の点て方 ・礼儀作法
		成 果	普段お茶を点てることはなかなかないので、実際に体験することで礼儀や作法について学び、講師と接することでコミュニケーションのスキルが身に付いた。
4	久米南町立 神目小学校	目 標	社会科で学習する内容を実際に体験することによって、感受性や想像力を養う。また、茶葉子をいただきながら作法やお茶の点て方などを学ぶ。
		講 師	林 宗裕
		対象者	6年生 7名
		日 時	令和7年6月17日(火) 13:55～14:40
		内 容	茶道の作法を学び、実際に体験。茶葉子をいただきながら、作法やお茶の点て方、歴史などを学んだ。
		成 果	初めて体験する児童ばかりだったが、講師に来ていただいて実際に体験できたことが、大きな学びになった。お茶の歴史や一つひとつの作法の意味を教えていただき、教科書では学べないことが体験できた。

【華道】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山県立 岡山西支援学校	目 標	体験や制作活動を通して将来の余暇の楽しみに繋がる活動になるようにする。また、一人ひとりが制作することで、卒業への意識を高める。
		講 師	清水 豊紀
		対象者	38名（小学部6年生10名、中学部3年生12名、高等部3年生16名）
		日 時	①令和8年2月13日（金）12：50～14：20 ②令和8年2月19日（木）10：00～11：30
		内 容	各学部の卒業学年（小学部6年生、中学部3年生、高等部3年生）を対象に卒業式で自身が身につけるコサージュを作製。
2	岡山県立 倉敷琴浦高等支援学校	目 標	総合的な探求の時間として、余暇活動力の充実、コミュニケーション能力の向上。
		講 師	清水 豊紀
		対象者	3年生21名
		日 時	令和8年2月27日（金）9：55～12：40
		内 容	造花を使用し、卒業式に着用するコサージュを作製。見本を前に工程を丁寧に説明して下さったことで、スムーズに行うことができた。わからないときは、講師に質問し、説明を受けながら行うことができた。
3	岡山市立 鯉山小学校	目 標	室町時代の文化を体験させたい。
		講 師	吉野 和江、岸田 洋枝
		対象者	6年生31名
		日 時	令和7年10月6日（月）8：45～9：30
		内 容	生け花体験。
成 果	社会科の歴史（室町時代）についての知識を深めることができた。		

【狂言】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 竹枝小学校	目 標	高学年は、社会科の「室町文化」と国語科の「狂言体験学習」として本物に触れる。低・中学年は、日本の伝統文化に親しみを持ち、狂言独自の表現のおもしろさを感じる。
		講 師	田賀屋 夙生
		対象者	2～6年生20名
		日 時	令和7年9月5日（金）10：40～12：10
		内 容	・狂言独自の姿勢や声の出し方、歩き方の練習 ・「柿山伏」の狂言鑑賞後、柿に向かって石を投げる場面や高い所に上がって柿を食べる場面の動作や台詞を指導いただき、狂言のおもしろさを味わった
成 果	「普通の笑い方とちがっておもしろかった」「柿の食べ方がおもしろかった」と狂言独自の表現を楽しみ、「また狂言を体験したい」と感想をもつ児童がいた。また、「柿山伏」を鑑賞し「柿山伏を全部見てみたい」「他の狂言も見てみたい」と狂言に興味をもつことができた。		
2	玉野市立 山田中学校	目 標	普段触れることのない伝統芸能の「狂言」に触れることで、その良さや美しさに気付くことができ、日本の文化を理解する態度を養う。
		講 師	田賀屋 夙生
		対象者	全学年21名
		日 時	令和7年10月16日（木）13：25～15：15
		内 容	狂言における基礎となる発声の仕方や、正しい姿勢などを丁寧に指導していただき、足の運び方や小道具の扱い方についても見せ方や創造力をふくらませることで、印象が変わってくることも知ることができた。後半は、一場面をやってみることで理解を深めることができた。
成 果	狂言を見たことがある生徒は1名だけであったが、基礎的な部分から丁寧に指導していただき、生徒たちも時間いっぱい楽しく狂言に触れることができた。質疑の際にもたくさんの意見が出て、関心も高まった。		
3	矢掛町立 川面小学校	目 標	社会科や国語科で学習する「柿山伏」を、実際に見たり体験したりして、伝統芸能への興味を深める。
		講 師	田賀屋 夙生
		対象者	6年生17名
		日 時	令和7年11月25日（火）10：30～12：00
		内 容	・「柿山伏」の一部の実演 ・狂言体験
成 果	狂言の歩き方や台詞の体験を交えながら、楽しく学ぶことができた。大きな声を児童が出せるように、ポジティブな声掛けを多くして下さった。狂言の特徴を詳しく教えていただき、わかりやすかった。		

【水墨画】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 三門小学校	目 標	日本の伝統文化の一つである水墨画を体験し、図工で学習する教材に生かしたり修学旅行先で水墨画を鑑賞する際の知識を養う。
		講 師	間嶋 郁子
		対象者	6年生44名
		日 時	令和7年7月8日（火）8：45～12：25
		内 容	水墨画の歴史、描き方を学び、児童がテーマを決めて水墨画を描いた。
成 果	日本の伝統文化を身近に感じ、歴史的に価値のあるものに触れたり、自分で実践したりする態度を育成できた。		

【七宝】

番号	学校名	講座詳細	
1	玉野市立 胸上小学校	目 標	七宝体験を通して、日本の伝統文化に触れ、伝統文化の良さを知る。
		講 師	丸山 昌子
		対象者	6年生 21名
		日 時	令和7年11月25日(火) 13:50～15:25
		内 容	・予めデザインを考える ・七宝焼きの説明を聞き、つくり方を教えてもらい、銀紙を切り土台にのせて焼き、さらに好きな色や石をのせ再度焼く ・キーホルダーに加工 ・感想を発表
成 果	自分が考えたデザインを講師に相談したり、つくり方を質問したりしながら制作したことで、伝統文化の良さを感じることができた。		

【陶芸】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 横井小学校	目 標	岡山県の伝統工芸である備前焼に触れ、作陶を実際に見て自分でも簡単な小物をつくる体験をする。
		講 師	大饗 利秀、豊田 賢潔、藤原 章、乗松 美歩
		対象者	4年生 132名
		日 時	令和8年1月13日(火) 13:50～15:25
		内 容	・備前焼のDVDを視聴 ・講師によるろくろや菊練りなどの見学 ・備前焼のペン立てづくり
成 果	講師の職人技を実際に見て、備前焼のすばらしさを実感することができた。また、自分でもつくってみたいという意欲を高め、ヒヨセに触れ、さらに社会の学習を深めることができた。		
2	岡山市立 妹尾小学校	目 標	岡山県の伝統工芸である備前焼の歴史に触れ、実際に作品づくりを体験することで、備前焼ができるまでの工程を理解するとともに、自分の手で作品をつくる楽しさを味わわせたい。
		講 師	大饗 利秀、乗松 美歩
		対象者	4年生 75名
		日 時	令和8年1月27日(火) 13:45～15:20
		内 容	・備前焼の歴史とつくり方について動画視聴 ・講師によるろくろ実演の見学と質疑応答 ・備前焼のペン立てづくり体験
成 果	土の固まりがろくろを回しながら成形することであつという間にコップ、とつくり、皿になっていく様子に思わず感嘆の声があがった。その後、興味をもって集中して活動ができた。なかなか上手く形にできないことを実感し、職人の技のすばらしさに触れることができた。また、備前焼作家の生の声や思いを聞くことができ学習が深まった。		
3	倉敷市立 倉敷支援学校	目 標	普段触れることのない備前焼の粘土で作品をつくることで、生徒の経験を広げるとともに、地域への関心を高める。
		講 師	大饗 利秀、豊田 賢潔、藤原 章
		対象者	高等部3年生 33名
		日 時	令和7年12月5日(金) 10:30～12:00
		内 容	・電気ろくろを使って、陶芸作品をつくる工程の見学(湯のみ、とつくり、大皿) ・ペン立てづくり体験
成 果	・ろくろで陶芸作品をつくることを間近で見ることができた。生徒たちは、粘土があつという間に形を変えていく様子に驚き、感嘆の声をあげていた ・作品づくりでは、普段触れない粘土の扱いに戸惑いながらも、講師のアドバイスを受けながら、思い思いの作品をつくることができた		
4	備前市立 吉永中学校	目 標	地元産業・文化である備前焼を通して、工芸・デザイン分野にわたり広く深く学ぶ。
		講 師	大饗 利秀、乗松 美歩
		対象者	3年生 47名
		日 時	令和7年9月24日(水) 10:55～12:35
		内 容	・使用される(日常的に)食器を目標とし「思い」を「形」にしていく制作を行う ・用意された粘土と事前の計画を当日にどのように擦り合わせて制作するか、そのなかでどのような気付きがあるかを振り返る
成 果	事前に動画や文章等で知識としての備前焼を理解することができ、かつ実践での戸惑いが良い経験となっていた。それらは将来の様々な場面で活かされていくと考える。		
5	新庄村立 新庄小学校	目 標	伝統と文化の尊重を目的に、日本の伝統工芸の一つでもある陶芸を体験し、日本文化の良さに気付かせたい。
		講 師	大饗 利秀
		対象者	5・6年生 12名
		日 時	令和7年9月18日(木) 10:30～12:05
		内 容	・備前焼の歴史や制作工程の映像資料視聴 ・ろくろ実演の見学 ・陶芸体験「ペン立てづくり」 ・質疑応答
成 果	作家の実演を見たり、実際に体験をすることで、日本の伝統工芸品に興味をもつことができた。		
6	久米南町立 弓削小学校	目 標	岡山県の伝統工芸である備前焼に触れ、制作体験することで児童が主体的に学べるようにする。
		講 師	大饗 利秀
		対象者	4～6年生 26名
		日 時	令和7年12月19日(金) 13:45～15:20
		内 容	・制作工程を動画視聴で学習 ・ろくろ制作実演の見学 ・備前焼のペン立てづくり体験
成 果	郷土の誇る伝統文化に触れ、職人の技術を見学でき、色々な作品が手際よくでき上がるすばらしさに感動していた。自分たちのつくる作品により親しみをもつことができた。		

【書写】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 福渡小学校	目 標	文字を整えて書く大切さを知り、丁寧に書く態度を育て、講師から学ぶことで、日頃の授業とは違う視点や刺激を得る。
		講 師	柴原 靖彦
		対象者	全学年 44名
		日 時	①令和7年11月25日(火) 9:30～11:25 ②令和7年11月26日(水) 9:30～11:25
		内 容	書き初め展、各学年の課題の指導。
成 果	中心線を意識して書くことの大切さや適切な文字の大きさがわかり、字形が整った。また、講師の字を見ることで「もっと上手になりたい」という意欲がわいた。		
2	岡山市立 浮田小学校	目 標	書き初め展に向けて長半紙に文字を整えて書く指導をしていただく。
		講 師	柴原 靖彦
		対象者	5・6年生 49名
		日 時	①令和7年12月1日(月) 9:35～11:30 ②令和7年12月9日(火) 9:35～11:30
		内 容	中心や字形を意識して書くこと、大きな文字を書くためには、肘を上げて書くことなど、文字を整えるときの注意点や筆の運び方について、具体的に教えていただいた。
成 果	児童が気を付けられるポイントを、細かに声かけ、指導していただいたことにより、以前よりものびのびと形の整った文字を書く児童が増えた。		
3	美作市立 作東中学校	目 標	書き初め展に出品する作品の精度向上。
		講 師	柴原 靖彦
		対象者	1年生 28名
		日 時	令和7年12月8日(月) 10:50～12:40
		内 容	行書の基本的な書き方を理解・習得し、用紙に収まるように字の大きさや字配りを考えて書く。
成 果	書道教室に通っている数名の生徒を除き、ほとんどの生徒が初めて行書を書いた。行書の特長である点画の変化について、書く動きと変化の仕方を理解して用紙に収まるように書くことができるようになった。		
4	吉備中央町立 加賀東小学校	目 標	書き初め展に向けて、長半紙に文字を整えて書く。
		講 師	柴原 靖彦
		対象者	5・6年生 30名
		日 時	①令和7年12月4日(木) 13:40～15:15 ②令和7年12月11日(木) 13:40～15:15
		内 容	講師が書いた長半紙・名前の手本をもとに、気を付けなければならないことを指導いただいた。
成 果	児童は、字の大きさやバランス、とめ、はね、はらいを意識して書くことができていた。		

【俳句】

番号	学校名	講座詳細	
1	津山市立 南小学校	目 標	小学3年生から学習する俳句について、地域で活動されている「網俳句会」の方に指導していただくことで、児童が俳句に親しむことができる。
		講 師	黒瀬 紘子、右手 敦子
		対象者	5年生 15名
		日 時	令和8年1月13日(火) 10:35～12:10
		内 容	・俳句が「五・七・五」の十七音で構成されていること、季語が使われていることなどの説明 ・講師からのアドバイスを受けながら作句 ・児童が作った俳句を並べ、鑑賞会を行う
成 果	児童らが熱心に作句することができていた。講師からアドバイスをもらうことで、よりよい俳句をつくることができ、鑑賞会で友だちや講師に認めてもらい、どの子も達成感があつたように見えた。		

【着付け】

番号	学校名	講座詳細	
1	笠岡市立 笠岡西中学校	目 標	浴衣を着る体験を通して和服や日本文化に興味をもつ。
		講 師	近藤 典博、妹尾 芳光
		対象者	1年生 54名
		日 時	令和7年6月5日(木) 8:50～12:40
		内 容	・浴衣の歴史 ・構造と名称 ・浴衣の着付けと帯の締め方体験 ・浴衣着用時の所作とたたみ方体験
成 果	・初めて浴衣を着た生徒から「ぜひまた着てみたい」という感想がたくさんあつた ・「動画で視聴するよりも実際に体験した方が覚えられた」と反省に記入した項目が多くあり、生徒には印象深い体験となった		

【投扇興】

番号	学校名	講座詳細	
1	倉敷市立 下津井中学校	目 標	総合的な学習の一環として、投扇興の体験を通して日本の文化に親しみ心豊かに落ち着いた時間を過ごす。
		講 師	田中 克郎
		対象者	3年生 20名
		日 時	令和7年10月24日（金）13：35～15：25
		内 容	5名ずつのグループに分かれて、対戦形式で投扇興を体験。
2	倉敷市立 長尾小学校	成 果	日本の伝統的な文化を体験することで、自国の文化に対する関心が高まり理解も深まった。また、生徒同士のコミュニケーションが活発に行われ、集団としての連帯感が高まった。
		目 標	日本の伝統的な文化に触れ、体験を通して、日本文化への興味や尊重する心を育てる。
		講 師	田中 克郎
		対象者	5年生 153名
		日 時	令和8年1月28日（水）8：40～14：20
内 容	・講師による投扇興のお手本と銘定の紹介 ・グループごとの練習 ・点数を付けながらグループで試合を行う		
成 果	講師たちが丁寧に教えてくれて楽しむことができた。また児童からは「普段の遊びにはない魅力を感じることができた」「周りの人に投扇興の楽しさを伝えたい」などの感想があがった。		

【選択授業】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 西大寺南小学校 茶道／華道	目 標	実際に茶道や華道を体験することによって当時の人々の生活に触れたり、今に受け継がれている文化について感じたりすることができる。
		講 師	[茶道] 宮本 京子、中村 倫子 [華道] 絹輪 みどり、吉野 和江
		対象者	6年生 34名（茶道17名、華道17名）
		日 時	令和7年10月2日（木）13：50～15：25
		内 容	[茶道]・あいさつや座り方の作法、道具の使い方について ・箸使い体験 ・実際に使う茶器などの道具を使ったお茶体験 [華道]・華道の歴史について ・季節の花の種類や生け花で使う花や葉について ・生け花体験
成 果	話だけではなく、実際に普段から茶道や華道に携わる人と関わることによって、より茶道や華道に興味をもって話を聞いたり、体験することができた。児童も「すごく楽しかった。当時の人もこうやって楽しんでいて、だからずっといろんな人が引き継いで今もあるのかも」「室町時代の人ほど工夫をして生けていたのかな」など、茶道や華道を通して歴史や人々の思いに触れる時間となった。		
2	岡山市立 幡多小学校 茶道／華道／ 和太鼓／銭太鼓／ 投扇興	目 標	[茶道] 茶道の歴史やお茶の点て方を知り、実際にお茶を点てて味わってみる。 [華道] 生け花の歴史やお花の生け方について知り、実践する。 [和太鼓] 和太鼓の演奏の仕方を知り、実際に演奏をする。 [銭太鼓] 銭太鼓に慣れ親しむ。 [投扇興] 日本の伝統文化の良さを理解する。
		講 師	[茶道] 藤井 宗真 [華道] 吉野 和江、岸田 洋枝 [和太鼓] 田中 みずほ [銭太鼓] 宮坂 一樹 [投扇興] 田中 克郎
		対象者	3年生 138名（茶道28名、華道30名、和太鼓27名、銭太鼓26名、投扇興27名）
		日 時	令和7年10月14日（火）9：15～11：00
		内 容	[茶道] ①茶道の歴史 ②お茶を点てて味わう [華道] ①生け花の歴史 ②生け花体験 [和太鼓] ①和太鼓の基本的な演奏方法 ②演奏体験 [銭太鼓] ①銭太鼓の歴史 ②銭太鼓の使い方や表現方法 ③演技体験 [投扇興] ①投扇興のルールやコツなど基本を学習 ②練習 ③投扇興で点数をつけて競う
成 果	[茶道] 茶道が伝わってきた背景を学び、点て方を知り実践することで茶道に興味をもち、お茶を点てることを楽しむことができた。 [華道] 生け花の歴史的背景を学び、生け方を知ることで全員が考えながら生け花を楽しむことができた。 [和太鼓] 和太鼓を実際に演奏することで、和太鼓に興味をもち楽しむことができた。 [銭太鼓] 好きな曲にあわせて銭太鼓を使って表現することができ、とても貴重で楽しい体験となった。 [投扇興] 自分たちで競技を進めることができるほど、ルールを覚えて楽しむことができた。		

番号	学校名	講座詳細	
3	倉敷市立 児島小学校 茶道／華道／ 和太鼓／水墨画	目 標	文化体験を通して、日本の伝統的な文化に興味をもち、現代に受け継がれている伝統文化についての理解を深める。 めあて／室町時代に始まり、現代に受け継がれている文化に触れよう。
		講 師	[茶道] 宮本 京子 [華道] 津崎 敬子、土谷 幸子 [和太鼓] 塩尻 司 [水墨画] 間嶋 郁子
		対象者	6年生 88名 (華道 21名、茶道 23名、水墨画 20名、和太鼓 24名)
		日 時	令和7年9月19日(金) 10:30～12:00
		内 容	[茶道] 歴史や飲み方を学び、作法を大切にしてお茶をいただく。 [華道] 歴史や生け方を学び、花材を生かして花を生ける。 [和太鼓] 姿勢や鳴らし方を学び、みんなで演奏する。 [水墨画] 歴史や描き方を学び、墨の濃淡を生かして絵を描く。
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科で学んだ内容と現代の日本文化がつながっていることに気付き、日本の伝統文化に興味をもつことができた ・講話を聞いたり、体験したりすることで日本文化の長い歴史について知り、日本の伝統文化に興味をもつことができた (以下、児童感想) [茶道] お茶の飲み方や和菓子の食べ方がわかった。茶道のことがもっと知りたくなった。 [華道] 花にも命があるのだなと思った。これから花のことも大事にしたいと思った。 [和太鼓] みんなと合わせるものが難しく何回もやり直しをした。リズムを合わせるよりも気持ちを込めてたたくことを頑張った。 [水墨画] 墨と水だけで先生のように描くのは難しく大変だった。色の濃いところと薄いところを描き分けている先生の絵はすごいと思った。 		
4	倉敷市立 倉敷支援学校 和太鼓／水墨画／ 現代舞踊	目 標	興味のある活動に親しむことで、余暇活動の幅を広げることができるようにする。また、外部講師と交流することで普段とは違う学習環境を体験し、文化的価値のあるものに触れ、生活経験を広げる。
		講 師	[和太鼓] 田中みずほ [水墨画] 間嶋 郁子 [現代舞踊] 高原 みゆき
		対象者	中学部全学年 66名 (和太鼓 26名、水墨画 16名、現代舞踊 24名)
		日 時	①令和7年11月25日(火) 10:30～12:00 ②令和8年2月6日(金) 10:30～12:00
		内 容	[和太鼓] 伝統芸能における稽古の仕方、作法、太鼓の打ち方の指導の後、リズムを覚えて曲に合わせた演奏の練習を行い、最後に1曲演奏した。 [水墨画] 作品紹介、水墨画についての説明。基本的な筆の使い方の指導の後、手本を参考にして自分の描きたいものを表現し完成させ、各自の作品を紹介。 [現代舞踊] 座位・立位での体のほぐし方を学び、音楽に合わせて動き、ステップや手の動き等を練習し、振り付けに合わせて1曲通して踊った。
成 果	<ul style="list-style-type: none"> [和太鼓] 太鼓の響きを全身で感じながら、リズムに乗って太鼓をたたき、和太鼓の魅力を味わうことができた。 [水墨画] 水墨画の魅力に触れ、生き生きとした表情で授業に取り組んでいた。自分の描きたいものや使いたい色を選びながら意欲的に創作活動に取り組むことができた。 [現代舞踊] 簡単な動きから少しずつ振りの難易度を上げていくことで、ダンス作品ができていき、楽しみながらも達成感を味わうことができた。 		
5	赤磐市立 吉井中学校 箏曲／尺八／ 和太鼓	目 標	和楽器の独特な旋律やリズム、音色の豊かさを聞き、体験することにより、日本の楽器に親しむ心情や伝統音楽を大切にしようとする心を育てる。
		講 師	[箏曲] 狩野 章定 [尺八] 加東 吹山 [和太鼓] 塩尻 司
		対象者	全学年 58名
		日 時	令和7年10月14日(火) 9:50～12:40
		内 容	・楽器についての説明 ・礼儀作法や楽器を演奏するときの心構え ・箏と尺八による模範演奏 ・和楽器の体験
成 果	それぞれの楽器の構造、歴史などの説明、また模範演奏を聞き、その後それぞれの楽器の体験をし、伝統音楽の音色を味わい、大切にしていきたいという心が芽生えた。		

■一般文化芸術部門■

【合唱】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 建部小学校	目 標	音楽会に向けて、児童・教師ともに発声について指導を受ける。
		講 師	脇本 恵子
		対象者	3～6年生 83名
		日 時	①令和7年10月9日(木) 9:30～10:15 ②令和7年10月17日(金) 13:15～14:00 ③令和7年10月20日(月) 9:30～10:15 ④令和7年10月24日(金) 9:30～10:15
		内 容	・発声練習 ・各学年の課題曲について歌唱指導
成 果	発声の仕方を知り、正しい姿勢で発声することができた。また、歌詞の意味や強弱記号についても指導してくださり表現力も身に付いた。		
2	岡山市立 小串小学校	目 標	10月は学習発表会、2月は卒業式に向けて、歌唱の基礎を学ぶことで、児童が見通しや意欲、自信をもって歌唱活動に臨めるようになること。また、学校生活の重要な節目の行事における歌唱活動に対して主体的に取り組み、達成感をもてるようにする。
		講 師	脇本 恵子
		対象者	全学年 25名
		日 時	①令和7年10月17日(金) 10:45～11:30 ②令和7年10月24日(金) 13:50～14:35 ③令和8年2月20日(金) 13:50～14:35 ④令和8年2月24日(火) 13:50～14:35
		内 容	[10月]呼吸や姿勢などの発声の基礎と、学習発表会の全校歌唱曲「世界がひとつになるまで」について、楽曲理解と歌唱表現の指導。 [2月]呼吸や姿勢などの発声の基礎と、卒業式の全校歌唱曲「虹」について、楽曲理解と歌唱表現の指導。
成 果	受講前は、声を張り上げて歌う児童が目立っていたが、受講後は「(講師のように)響きのある声で歌おう」という意志をもって声を出すようになった。他の曲に臨んだ際も、自発的に声の出し方を考えて歌う姿が見られた。		
3	岡山市立 石井小学校	目 標	学習発表会の合唱曲「地球星歌～笑顔のために～」の指導をしてもらう。
		講 師	脇本 恵子
		対象者	6年生 73名
		日 時	①令和7年10月23日(木) 10:45～11:30 ②令和7年11月6日(木) 10:45～11:30 ③令和7年11月12日(水) 10:45～11:30
		内 容	合唱の基本を学習。
成 果	子どもたちの歌声が、みるみる美しくなり、発表会当日が楽しみになるところまで技術が高まった。		
4	岡山市立 曾根小学校	目 標	学習発表会で行う合唱に向けて、正しい姿勢、発声方法で工夫しながら歌うことができるようにする。
		講 師	柴田 久美子
		対象者	3～6年生 86名
		日 時	①令和7年10月28日(火) 9:45～11:35 ②令和7年10月31日(金) 9:45～11:35
		内 容	学習発表会に向けての歌唱指導。声の出し方、姿勢、歌い方の工夫等。
成 果	発声の仕方、姿勢など児童は楽しく学ぶことができた。学習発表会で自信をもって歌えると思う。		
5	岡山市立 大元小学校	目 標	音楽的表現力を高め、音楽発表会に向けた歌唱指導を受ける。
		講 師	柴田 久美子
		対象者	4年生 139名
		日 時	令和7年10月29日(水) 8:50～12:30
		内 容	クラスごとに合唱の指導(上のパート、下のパートに分かれての指導)を受けたあと、2つのパートを合わせた合唱の指導。
成 果	歌詞の意味、表現の工夫について考えパートごとに練習できた。また、各パートの歌を聞き合って歌うことができた。		
6	岡山市立 御津小学校	目 標	学習発表会に向けて、それぞれの学年の合唱曲の歌唱レベルの向上。
		講 師	畑山 かおり
		対象者	5・6年生 54名
		日 時	①令和7年10月29日(水) 14:30～15:15 ②令和7年11月5日(水) 14:00～14:45 ③令和7年11月6日(木) 14:30～15:15 ④令和7年11月12日(水) 11:15～12:00
		内 容	・体育館で本番を想定した実践的な練習 ・姿勢、声の出し方、テンポのとり方、メロディライン等の指導
成 果	・6年生は、声の大きさだけでなく、周囲の音を聞きながらハーモニーに気を付けて歌う意識が出てきた ・5年生はテンポがとれず、声も小さかったが、講師の指導で自分たちでテンポをとって自信をもって歌うことができるようになった		
7	岡山市立 福島小学校	目 標	音楽発表会の合唱に向けて、声の出し方や姿勢、歌詞に込められた思いの伝え方について指導を受け、その後の練習、本番につなげたい。
		講 師	桑原 直美
		対象者	6年 56名
		日 時	①令和8年1月14日(水) 8:55～9:40 ②令和8年1月21日(水) 8:55～9:40
		内 容	・歌い方、声の出し方の指導 ・曲の盛り上がりの部分における歌詞(言葉)へのつなぎ方の指導
成 果	美しい声で歌を歌えるようになり、曲の盛り上がりの音量を上げることができた。		

番号	学校名	講座詳細	
8	岡山市立 馬屋上小学校	目 標	卒業式に向けての合唱・歌唱の上達、今まで培った歌声の維持。
		講 師	佐々木 英代、鴨井 敦子
		対象者	全学年 33名
		日 時	①令和8年2月12日(木)13:30～14:30 ②令和8年2月26日(木)13:30～14:30
		内 容	発声練習で声の出し方の指導。口の形や歌詞を大切に歌う方、拍のとり方の指導。かけ合いで声を聞き合い、合わせる楽しさが感じられた。
成 果	腹筋を使って、頭声的発声で声が出るようになり、高音がきれいに響くようになった。子音を大切に歌詞を心を込めて歌うことで「旅立ちの日に」の2部合唱のかけ合いが上手になり、歌う楽しさを味わった児童も多かった。		
9	倉敷市立 下津井東小学校	目 標	閉校イベントで全校児童が歌う「ふるさと」「世界に一つだけの花」の合唱指導。
		講 師	種田 光洋
		対象者	全学年 35名
		日 時	①令和7年10月6日(月)10:35～11:20 ②令和7年10月20日(月)10:35～11:20 ③令和7年10月27日(月)10:35～11:20 ④令和7年11月10日(月)10:35～11:20
		内 容	合唱指導。
成 果	初めは声も小さく、自信がなさそうに歌っていたが、講師の指導により声の出し方もわかり、自信をもって楽しく歌えるようになり、閉校イベントに向けて準備することができた。		
10	倉敷市立 柳井原小学校	目 標	学芸会に向けての歌唱指導と児童の歌唱力の向上。
		講 師	山下 典子
		対象者	全学年 64名
		日 時	①令和7年10月10日(金)13:50～14:35 ②令和7年10月31日(金)13:50～14:35 ③令和7年11月11日(火)9:25～10:10 ④令和7年11月25日(火)9:25～10:10
		内 容	歌うときの姿勢、発声の仕方の指導と、学芸会で歌う曲の指導。
成 果	歌う姿勢や発声に気をつけながら歌うことができるようになってきた。さらに、伴奏を聞きながら、指揮者を見ながら、全員で心をひとつにして歌うことができるようになった。		
11	倉敷市立 沙美小学校	目 標	学芸会の全校合唱に向けての歌唱指導。
		講 師	山下 典子
		対象者	全学年 22名
		日 時	①令和7年10月14日(火)10:45～11:30 ②令和7年10月30日(木)10:45～11:30 ③令和7年11月4日(火)10:45～11:30 ④令和7年11月20日(木)10:45～11:30
		内 容	・歌うときの姿勢、発声の仕方の指導 ・学芸会で歌う「花は咲く」の歌唱指導
成 果	正しい発声の仕方や、豊かな表現力を身に付けることができた。また、歌うことの楽しさを味わうことができた。		
12	倉敷市立 玉島南小学校	目 標	学習発表会に向けた歌唱力の向上。
		講 師	佐々木 英代、鴨井 敦子
		対象者	3・5年生 104名
		日 時	①令和7年10月30日(木)9:35～11:30 ②令和7年11月13日(木)9:35～11:30
		内 容	・正しい発声法と体の使い方 ・曲の特徴に合わせた歌い方の指導
成 果	体育館でも美しい響きを意識して歌えるようになった。また、周りの音を聞く、まねる力が身に付いた。		
13	倉敷市立 富田小学校	目 標	歌詞の内容が伝わるように歌うにはどのような歌い方が必要なかを考え、歌唱に生かす。
		講 師	種田 光洋
		対象者	4年生 48名
		日 時	令和8年1月27日(火)10:45～12:25
		内 容	しっかり声が出せるように、姿勢や歌い方、表情など、子どもたちが興味をもち歌いたいと思える雰囲気、わかりやすい説明と合唱指導をしていただいた。
成 果	姿勢・歌い方・表情などを意識し、笑顔でしっかり歌うことができるようになった。		
14	津山市立 河辺小学校	目 標	各行事や卒業式に向けて歌唱力の向上を目指す。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	3・4・6年生 157名
		日 時	①令和7年9月29日(月)13:50～14:35 ②令和7年9月30日(火)11:40～12:25 ③令和8年2月9日(月)11:40～12:25 ④令和8年2月16日(月)13:50～14:35
		内 容	3年生は「とどけようこのゆめを」、4年生は「いつだって」、6年生は「旅立ちの日に」の歌唱指導。歌う姿勢、発声の仕方、言葉の発音、表現の仕方、声のとばし方や響かせ方、2部合唱パート練習の指導。
成 果	6年生は各パートの音程のとり方の確認をしたことで自信がついた。2回目の指導では、声の響き方やどのような思いで歌うかの意識が高まった。3・4年生は声の出し方など基礎的なことを覚えることができ、歌う楽しさを味わうことができた。		

番号	学校名	講座詳細	
15	津山市立 高田小学校	目 標	児童が歌唱の基礎を身に付け、歌う楽しさを味わわせるとともに、教員は指導の仕方を学ぶ。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年 92名
		日 時	①令和7年10月9日(木)10:40～12:20、13:40～14:25 ②令和8年2月10日(火)10:40～11:25
		内 容	[1・2年] 歌う姿勢、発音、発声の仕方を指導。 [3・4年] 歌う姿勢、発音、頭声発声に加え音程のとり方を指導。 [5・6年] 歌うときの構え、頭声発声、鼻濁音、子音の発音の指導。
成 果	指導を通して、低学年は楽しく美しく歌えるようになった。中学年は言葉をはっきりとして、気持ちをこめて歌えるようになった。高学年は表現が身に付き、音程のとれた美しい歌声で歌えるようになった。		
16	津山市立 清泉小学校	目 標	学習発表会に向けて、全校が気持ちをひとつにして、発声に気を付けきれいな声で歌えるようにしたい。ハーモニーの美しさに気付き、歌の好きな子どもに育ってほしい。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年 40名
		日 時	①令和7年10月20日(月)13:40～15:15 ②令和7年10月31日(金)13:40～15:15
		内 容	・全校「ありがとうの花」2部合唱 ・3～6年「この星に生まれて」2部合唱 ・全校 校歌
成 果	発声が良くなり、声の色合いもそろい、言葉もはっきりして、気持ちが伝わる歌になった。マイクを使って歌う曲とは違う、ハーモニーの美しい合唱曲の世界も体感できた。		
17	津山市立 広戸小学校	目 標	学校創立150周年ということもあり、全校で合唱することに力を入れたい。周りの声を聞きながら楽しく歌えるようにしたい。卒業式で歌う斉唱の基礎をつくりたい。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年 42名
		日 時	①令和7年11月7日(金)9:40～11:30 ②令和7年11月11日(火)9:40～10:25 ③令和8年2月17日(火)9:40～10:25
		内 容	まず児童だけで歌い、課題を把握した講師から発声の仕方や歌うポイントなど適切な指導を受けた。また、歌詞の意味も意識するように助言を受けた。
成 果	声量が増え、のびやかに歌えるようになった。学習発表会では、自信をもって歌うことができた。教員も、どのように指導すれば良いかわかった。		
18	津山市立 西小学校	目 標	児童の歌唱のスキルアップと、職員の歌唱指導方法の会得。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年 157名
		日 時	令和7年11月12日(水) 10:40～12:20
		内 容	・発声、発音、姿勢など合唱の基本指導 ・低学年(1～3年生)は「かぞえうた」の合唱指導、高学年(4～6年生)は「ふるさと」の合唱指導
成 果	頭声発声を意識した歌声になり、子どもたちも歌う楽しさを感じ自信をもつことができた。また、発表会に向けての課題が子どもたち、教員も共有することができた。		
19	津山市立 東小学校	目 標	5年生は、6年生を送る会に向けた合唱指導を、6年生は、卒業式に向けた合唱指導を受ける。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	5・6年生 102名
		日 時	①令和8年1月28日(水)10:40～12:20 ②令和8年2月17日(火)13:35～15:15
		内 容	・5年生「大切なもの」合唱 ・6年生「旅立ちの日に」合唱
成 果	発声の仕方から曲の解釈、それを表現する方法などを学ぶことができた。		
20	玉野市立 八浜中学校	目 標	校内合唱コンクールに向けて取り組んでいる合唱曲を中心に、基本的な発声法や歌詞を大切に歌うことを学ぶ。
		講 師	柴田 久美子
		対象者	全学年 136名
		日 時	令和7年10月7日(火)9:55～12:45
		内 容	課題曲の指導。発声法などの指導。
成 果	講師のアドバイスで、生徒たちの声の出し方が変化し、また言葉を大切に歌うことができるようになった。		
21	備前市立 伊部小学校	目 標	基本的な発声方法や歌詞を大切にしたい歌い方などを身に付けるとともに、友だちと心を合わせて歌うことができるようになる。
		講 師	桑原 直美
		対象者	4年生 53名
		日 時	①令和7年9月26日(金)9:35～10:20 ②令和7年10月8日(水)11:40～12:25 ③令和7年10月22日(水)11:40～12:25 ④令和7年11月5日(水)11:40～12:25
		内 容	・声の出し方の指導 ・2部合唱の指導と歌詞の意味が伝わる歌い方の指導 ・学習発表会に向けてのきめ細やかな指導
成 果	声の出し方をわかりやすく指導していただき、子どもたちは楽しく声を出すことができた。2回目以降は、学習発表会に向けて具体的な指導をしてくださり子どもたちの声と表情が変わった。		

番号	学校名	講座詳細	
22	備前市立 西鶴山小学校	目 標	合唱指導を通して適切な発声法や歌詞用法を身に付ける。
		講 師	桑原 直美
		対象者	全学年 41 名
		日 時	①令和 8 年 1 月 23 日 (金) 13:30～14:15 ②令和 8 年 2 月 6 日 (金) 8:45～9:30
		内 容	全校合唱「変わらないもの」と、3・4 年斉唱「大切なもの」を指導していただく。基本的な発声練習の後、実際に合唱曲を歌いながら聞いている人に気持ちが伝わる歌い方を教えていただいた。
		成 果	発声練習では無理せず声を響かせるために、体をどのように使えば良いかわかりやすく教えてくださったので、低学年の児童もきれいな声で歌えるようになった。また歌詞の内容を理解し聴衆に伝えることも意識できるようになった。
23	赤磐市立 山陽小学校	目 標	学習発表会と卒業式に向け、合唱を指導していただき、高音域の無理のない発声のコツや、ボリュームの出し方が上手になるため。
		講 師	畑山 かおり
		対象者	4・6 年生 132 名
		日 時	①令和 7 年 10 月 23 日 (木) 9:35～11:25 ②令和 8 年 2 月 20 日 (金) 11:35～12:20 ③令和 7 年 2 月 25 日 (水) 13:00～13:45
		内 容	歌詞の意味を考えて歌うことや、発声についてのアドバイス、ソプラノ・アルトパートの音程などを教えていただいた。また、息をお腹の底から出して歌うように、簡単な動作をつけて歌う方法を教えていただいた。
		成 果	発声のアドバイスを生かして歌うことで、口の開け方や表情が変わり、響きのある声になった。また、曲想を考えたり、互いの声を聞き合ったりすることにより、歌唱の質を高めることができた。
24	真庭市立 湯原小学校	目 標	学習発表会の全校合唱に向けて、教師は指導のポイントを学び、児童は伸びやかに歌えるようになる。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年 67 名
		日 時	①令和 7 年 10 月 3 日 (金) 9:40～11:30 ②令和 7 年 10 月 27 日 (月) 9:40～11:30
		内 容	・10 月 3 日は、1～4 年と 5・6 年に分かれてのパート練習 ・10 月 27 日は、各パート練習と全学年による合唱指導
		成 果	・発音に気を付けることで、歌詞がしっかり聞こえる歌い方ができるようになった ・美しい 2 部合唱ができるようになった
25	真庭市立 草加部小学校	目 標	学習発表会の全校合唱の歌と卒業式の式歌の歌唱指導。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年 26 名
		日 時	①令和 7 年 10 月 17 日 (金) 13:50～14:35 ②令和 7 年 10 月 28 日 (火) 13:50～14:35 ③令和 8 年 2 月 10 日 (火) 13:50～14:35 ④令和 8 年 2 月 24 日 (火) 13:50～14:35
		内 容	学習発表会の全校合唱曲「フレンドシップ」、卒業式の式歌「旅立ちの日に」の歌唱指導。
		成 果	発声や発音の仕方、歌詞を大切に歌うことなど、歌い方を身に付けようとしていたり、仲間と歌声を合わせる楽しさを感じたりすることができた。
26	美作市立 勝田東小学校	目 標	学習発表会や卒業式に向けて、地域の人や保護者・卒業生・在校生など、届けたい相手に生き生きとした歌声が届けられるように歌うポイントを学び、歌う楽しさを感じられるようにする。また教師は、指導法を学ぶ。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年 26 名
		日 時	①令和 7 年 6 月 12 日 (木) 11:40～12:25 ②令和 7 年 11 月 6 日 (木) 13:40～14:25 ③令和 8 年 2 月 26 日 (木) 10:45～12:30
		内 容	「あしたははれる」を中心に基本的な歌唱法（発声、歌う姿勢）の指導。続いて、学習発表会に向けて「チャレンジ!」（斉唱）、「音楽のおくりもの」（2 部合唱）の指導。最後に卒業式に向けて「また会う日まで」「最後のチャイム」の歌唱指導を受けた。
		成 果	・継続して指導していただいているので、子どもたちと教員も歌うときのポイントが根付きつつある ・現状から適切な指導をしていただいているため、歌声が見違えるほど変化し、子どもたち自身も上達を感じられている
27	美作市立 大原小学校	目 標	きれいな声の出し方や発声の仕方に気を付けて歌えるようになる。同時に教員も歌唱指導のポイントを学ぶ。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年 128 名
		日 時	令和 7 年 6 月 17 日 (火) 13:45～15:45
		内 容	・低、高学年に分かれて 6 月の歌「Believe」の歌唱指導 ・外部講師を主指導者として複数で授業を行った
		成 果	合唱をみんなで楽しみながら、美しい声が出る姿勢や呼吸法、発声の仕方を知ることができた。また、友だちと一緒に奏でる美しいハーモニーに音楽のすばらしさを感じることができた。
28	美作市立 土居小学校	目 標	基本的な歌唱指導や、行事に向けた歌唱指導を通して、正しい発声の仕方でも表情豊かに歌うことができるようにする。教師は講師から指導法を学ぶことで、今後の歌唱に生かす。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年 33 名
		日 時	①令和 7 年 6 月 18 日 (水) 11:15～12:00 ②令和 7 年 10 月 24 日 (金) 11:15～12:00 ③令和 8 年 2 月 25 日 (水) 10:25～12:00
		内 容	・11 月に地域で行う「土居宿マラソン・まちかどコンサート」に向けての「翼をください」「ふるさと」の歌唱指導 ・卒業式に向けて在校生は「あなたにありがとう」、卒業生は「絆」の歌唱指導
		成 果	頭声発声に加えて、鼻濁音や子音を明確に歌うことを意識できるようになった。またサビの高音部分を歌う際に丹田に力を入れることで、声を支えることができるようになった。子どもたちもその変化を感じながら歌う喜びを味わっていた。

番号	学校名	講座詳細	
29	美作市立 英田小学校	目 標	発表会と卒業式に向けた歌唱指導によって子どもたち一人ひとりが正しい発声方法を知り、美しい声で歌うことができるようにする。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年 72名
		日 時	①令和7年10月31日(金)9:35～11:25 ②令和8年2月12日(木)11:10～11:55 ③令和8年2月27日(金)13:50～14:35
		内 容	発表会「MUSIC」(全学年)、卒業式「3月9日」(6年生)の歌唱指導。
成 果	正しい発声方法で美しい歌声を響かせることができた。		
30	浅口市立 鴨方東小学校	目 標	児童の歌唱力向上。
		講 師	山下 典子
		対象者	5・6年生 91名
		日 時	①令和7年11月6日(木)11:35～12:20 ②令和7年11月13日(木)10:40～11:25 ③令和7年11月27日(木)11:35～12:20 ④令和7年12月11日(木)10:40～11:25
		内 容	歌唱に必要な姿勢、心構え、発声方法ならびに歌唱技術について指導を受けた。併せて、歌詞に対応した手話表現の指導も実施された。
成 果	歌唱に必要な姿勢、発声方法についてわかりやすい指導を受け、歌声が良い方向へ変化した。また、手話表現に挑戦し、有意義な体験となった。加えて、教育的視点からも指導方法に関する多くの示唆を得ることができ、今後の指導に活用できる成果があった。		
31	浅口市立 金光吉備小学校	目 標	卒業式に向けた合唱指導。歌唱にふさわしい姿勢や、声の出し方などの基礎的な技能を身に付けること。それぞれの曲の特徴に合わせた歌唱ができるようになること。
		講 師	山下 典子
		対象者	4～6年生 72名
		日 時	①令和8年1月20日(火)9:35～10:20 ②令和8年2月3日(火)9:35～11:15 ③令和8年2月24日(火)9:35～10:20
		内 容	・歌う前の準備(身体を中から広げる、支え方、姿勢)について ・歌詞の意味について考えること ・歌い方(頬を上げるなど)
成 果	歌詞の内容(意味)をよく考えて、それにふさわしい歌い方で歌うことの大切さを学ぶことができた。周りの友だちの声を聞いて、調和させて歌おうとする姿勢が身に付いた。		
32	美咲町立 美咲中央小学校	目 標	・歌い方の基本(発声法、言葉の扱い)を習得する ・曲想に合った歌い方を理解する
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年 125名
		日 時	令和8年2月24日(火)10:35～12:15
		内 容	卒業生の歌「友～旅立ちの時～」では、細かい音の動きを正確に歌うことと、高い音、低い音の出し方の指導を受けた。そして在校生の歌「大空がむかえる朝」では、2部合唱と両パートのかけ合い部分のポイントについて指導を受けた。
成 果	歌う時の表情が明るくなり、のびやかな発声で歌おうとする姿が見られた。また教員にとっても、指導のポイントを確認できる良い機会となった。		

【合奏】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 高島小学校	目 標	コンクールやコンサートに向けて、基礎練習から楽曲を仕上げていくことができるようにする。併せて、合奏でお互いに音を合わせて演奏に広がりをもたせられるようにする。
		講 師	杉本 賢志
		対象者	3～6年生 50名(管楽器クラブ)
		日 時	①令和7年7月24日(木)9:30～11:30 ②令和7年9月20日(土)9:30～11:30
		内 容	基礎練習での音の合わせ方や合奏するときの音の緩急の作り方を学んだ。
成 果	音を合わせるために具体的なイメージを共有し、音への向き合い方や、そのコツを学ぶことができた。		

【吹奏楽】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 桑田中学校	目 標	基礎練習方法の習得と基礎力・演奏技術の向上を目指す。
		講 師	原田 直郎
		対象者	吹奏楽部全学年 58名
		日 時	①令和7年6月1日(日)9:30～11:30 ②令和7年6月14日(土)9:30～11:30
		内 容	・基礎合奏の方法と実践指導 ・吹奏楽コンクール課題曲の解説と合奏指導
成 果	息や体の使い方と理解し、基礎的な演奏技術が身に付いた。また、個々の楽器の響きの向上、楽曲への理解の深まりとともに表現の幅が広がった。		
2	岡山市立 岡山中央中学校	目 標	基礎練習の習得と吹奏楽コンクールに向けて演奏技術の向上。
		講 師	[サクソフォン] 土師 由美子 [クラリネット] 松本 典子
		対象者	吹奏楽部1・2年生 6名(サクソフォン3名、クラリネット3名)
		日 時	[サクソフォン] ①令和7年6月2日(月)16:00～17:00 ②令和7年6月23日(月)13:30～15:30 ③令和7年7月8日(火)16:15～17:15 [クラリネット] ①令和7年7月5日(土)9:30～11:30 ②令和8年1月31日(土)9:30～11:30
		内 容	[サクソフォン] 美しい音色を出すために正しいリードのつけ方や基礎的な奏法を中心に個別指導を行った。 [クラリネット] 日頃の基礎練習の仕方と、曲を演奏するうえでのアドバイスを頂いた。
成 果	[サクソフォン] 音色や吹き心地が随分と変わり、生徒は表現できることに喜びを感じて自信につながっていた。 [クラリネット] 音色がたくまろやかな響きに変わり、パートの音が合いやすくなった。練習の態度も前向きになり、やる気をもって取り組むようになった。		

番号	学校名	講座詳細	
3	岡山市立 藤田中学校	目 標	[打楽器] 専門家による各楽器の正しい演奏方法、生徒の課題の指導、効果的な練習方法の指導。 [金管楽器] 専門家の指導で楽器の正しいならし方、基本的な練習法を身に付け今後の練習に生かす。
		講 師	[打楽器] 仁城 英子 [金管楽器] 原田 直郎
		対象者	吹奏楽部全学年10名(打楽器4名、金管楽器6名)
		日 時	[打楽器] ①令和7年6月21日(土)13:00～15:00 ②令和7年6月22日(日)14:00～16:00 [金管楽器] ①令和7年10月25日(土)9:00～11:00 ②令和7年11月20日(木)14:00～16:00
		内 容	[打楽器] 基礎練習の進め方、曲に合うマレット等の選択方法、曲の難しい部分の練習方法の指導。 [金管楽器] 息の遣い方、基礎練習の方法とポイント、音の響かせ方、演奏時に気を付けることの指導。
成 果	[打楽器] コンクールの課題曲に合うマレット選びや楽器のアドバイスをしていただき、曲の表現力が上達した。また、練習方法や生徒が難しいと感じている部分を丁寧かつ具体的に指導していただき演奏できるようになった。 [金管楽器] 正しい吹き方、音の響かせ方、息の遣い方を丁寧に指導していただき、楽器についてよく理解できた。基礎練習の仕方とポイントも教えていただき実践できるようになった。		
4	玉野市立 日比中学校	目 標	演奏技術の向上と基礎的な知識、技能の習得。
		講 師	[サクソフォーン] 土師 由美子 [ユーフォニアム] 市 将江
		対象者	吹奏楽部全学年6名(サクソフォーン4名、ユーフォニアム2名)
		日 時	[サクソフォーン] ①令和7年7月12日(土)9:30～11:30 ②令和7年11月1日(土)9:30～11:30 [ユーフォニアム] ①令和7年7月21日(月)10:00～12:00 ②令和7年11月15日(土)10:00～12:00
		内 容	[サクソフォーン] 楽器やリードに関する基礎的な知識。基礎練習方法と正しい奏法指導。 [ユーフォニアム] 楽器に関する基礎的な知識。基礎練習方法と正しい奏法指導。
成 果	コンクール前に指導していただき、中国大会で金賞を受賞することができた。		
5	瀬戸内市立 長船中学校	目 標	[クラリネット] 基礎練習、応用練習など学年にあった楽器の練習メニューを学びアドバイスを受ける。 [トロンボーン] 先輩が卒業し1年生のみとなったトロンボーンパートに基礎を学ばせる。
		講 師	[クラリネット] 松本 典子 [トロンボーン] 原田 直郎
		対象者	吹奏楽部1・2年生5名(クラリネット3名、トロンボーン2名)
		日 時	[クラリネット] ①令和7年10月4日(土)10:00～12:00 ②令和7年11月1日(土)9:30～11:30 [トロンボーン] 令和7年10月6日(月)9:00～12:00
		内 容	[クラリネット] 1年生には基礎練習初級、2年生には中級練習を指導いただいた。 [トロンボーン] 基礎練習メニューを一から組み立てて練習。
成 果	[クラリネット] 先生の素敵な演奏の音色に触れ、イメージが具体的に理解できたように思う。次回までの課題も見つかり、練習にもしっかり取り組めるようになった。 [トロンボーン] 基礎練習の方法、意識など楽器を演奏する際に大切なことを学べた。また、今やるべきことがわかった。		
6	矢掛町立 矢掛中学校	目 標	[フルート] 昨年度初めて受講し、奏法の基礎、基本を学ぶことができた。今年度は応用として曲の表現力を身に付ける。 [コントラバス] 楽器の扱い方や構え方、息の遣い方、基礎練習の仕方など初歩的なことを身に付ける。
		講 師	[フルート] 野崎 めぐみ [コントラバス] 林 環
		対象者	吹奏楽部全学年4名(フルート2名、コントラバス2名)
		日 時	[フルート] ①令和7年6月28日(土)13:00～14:30 ②令和7年7月5日(土)10:00～11:30 ③令和7年7月19日(土)13:30～14:30 [コントラバス] ①令和7年6月5日(木)16:00～17:00 ②令和7年7月1日(火)16:30～17:30 ③令和7年7月24日(木)10:00～11:00 ④令和7年9月16日(火)16:00～17:00
		内 容	[フルート] 基礎・基本の確認の後、曲を演奏。また、わからない部分や難しい演奏部分を講師に質問し丁寧に指導していただいた。 [コントラバス] 教則本を使用し基礎、基本を確認し応用を指導いただいた。
成 果	[フルート] 基礎・基本を修復し曲の表現力を高めることができたので、他の曲にも応用し演奏曲のレパートリーを増やすことができた。 [コントラバス] 少しずつ基礎・基本が定着してきたと感じる。指導のおかげで、コンクールに挑戦し予選大会で金賞を、県大会でも金賞を受賞することができた。		

【器楽】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山県立 岡山南支援学校 (中学部)	目 標	音楽のリズムに合わせて身体を動かしたり、打楽器を演奏することができるようになる。
		講 師	小池 満里子
		対象者	中学部3年生14名
		日 時	①令和7年6月5日(木)13:10～14:00 ②令和7年6月12日(木)13:10～14:00
		内 容	・リトミック ・打楽器を使ったリズム表現 ・チェロの伴奏に合わせての歌唱表現
成 果	・ピアノの音に合わせて歩いたり、走ったり、リズムに合わせた動きをすることができた ・リズムごとに楽器を分担し、音楽に合わせて演奏することができた ・チェロの伴奏に合わせて歌を歌ったり、手話表現をすることができた		

番号	学校名	講座詳細	
2	岡山県立 岡山南支援学校 (小学部・高等部)	目 標	弦楽器の鑑賞を行い、2つの楽器の特徴を知ったり、音色を聞き比べる活動を通して、生演奏の良さを知り音楽への理解を深める。
		講 師	小池 満里子、林 環
		対象者	小学部5年生15名、高等部3年生30名
		日 時	令和7年9月10日(水) 9:50～11:20
		内 容	各クラスでチェロとコントラバスの楽器説明、楽器の特徴を表す楽曲の鑑賞を行った。高等部では、音楽の要素(音の速さ・高さ・大きさ)に着目しながら「G線上のアリア」や創作曲のアレンジ演奏をしてもらうことで、音楽の要素と曲の雰囲気の繋がりについて体験することができた。小学部では、楽器紹介の後に「さんぽ」の生演奏に合わせて歩く・走る・ジャンプの身体表現を行った。次に、2種類の雰囲気の楽曲を鑑賞し感想を言い合ったり、普段から歌っている曲に合わせて伴奏をつけて歌唱活動を行った。
成 果	児童・生徒は生演奏を鑑賞することで、音楽機器では感じることでできない楽器の音色ごとの美しさや迫力を、見て、感じる事ができた。授業開始時には、生徒に少し緊張した様子が見られたが、楽器の特徴や技法、音色の違いについて、演奏を交えながら講師との対話を通して、リラックスして活動に参加する生徒が多く見られた。創作曲のアレンジ演奏や、普段の歌唱曲の伴奏付けを依頼したことで、生徒にとって普段の伴奏形態との違いを感じることでできる時間になった。		

【演劇】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 山南学園	目 標	文化祭での学級発表に向けて基礎・基本を学ぶ。また、準備や練習をするうえで課題になっていることを解決するアドバイスを受ける。
		講 師	大岩 主弥
		対象者	9年生53名
		日 時	①令和7年8月27日(水) 10:50～12:40 ②令和7年8月28日(木) 13:50～15:40
		内 容	1日目は、演劇において大切な要素をゲーム形式にて学習。2日目は、質疑応答を交えながら講義を受け演劇体験を行った。
成 果	受講後は生徒たちが話し合いを行い必要な道具や演出方法について立案し自発的に進められるようになった。また、練習をする時に互いにアドバイスする姿も見られた。		
2	倉敷市立 連島南中学校	目 標	演劇のメソッドを体験することで、自己表現や感情表現の方法の幅を広げる一助とする。
		講 師	難波 りか
		対象者	特別支援学級全学年10名
		日 時	①令和7年8月29日(金) 13:40～15:30 ②令和7年9月5日(金) 13:40～15:30
		内 容	・アイスブレイキング/自己紹介、手拍子を使ったやり取りで言葉を介さずアイコンタクト等で他者とタイミングを合わせる ・フリーズフレーム/与えられたテーマをグループで表現(テーマは、「図書館」など学校内の「場所」や、昔話「ももたろう」の一場面など) ・台本を事前に読み、グループに分かれて「泣いた赤鬼」の一場面を演じる
成 果	生徒、教員共に演劇は初体験で、とても新鮮であった。示された課題を生徒それぞれが受け止め、どのように表現するかを考え体現していく様子に、生徒たちの新しい一面を見ることができた。また、講師が思いもよらない生徒たちの力を引き出して、生徒たちにとって演劇という自己表現を楽しむことができたプログラムとなった。教職員にとっても有意義な時間で、自立活動の幅を広げることができたと感じる。		

【ミュージカル】

番号	学校名	講座詳細	
1	矢掛町立 中川小学校	目 標	ミュージカルの表現の仕方を学ぶ。
		講 師	清水 ゆき
		対象者	全学年53名
		日 時	①令和7年9月16日(火) 9:20～12:00 ②令和7年11月5日(水) 10:30～11:30
		内 容	・学習発表会の表現に生かすことができるよう、ジェスチャーで表現するゲームを全学年で実施 ・5・6年生のミュージカル劇に対する具体的なアドバイスを受けた
成 果	・体を動かして表現する楽しさを味わうことができた ・5・6年生の演技力とやる気が向上した		

【デザイン】

番号	学校名	講座詳細	
1	倉敷市立 味野小学校	目 標	ポスター作成活動を通してデザインを身近なものとして感じ、総合的な学習の時間等で活用できるようにする。
		講 師	山下 リール
		対象者	5年生35名
		日 時	令和7年6月12日(木) 8:35～12:20
		内 容	ポスターの具体的な描き方について体験や資料を見ながら詳しく説明を聞いたあと、一人ひとりに応じて的確な助言をいただきながら「人権ポスター」を制作した。
成 果	・児童一人ひとりが満足感を得ながら人権ポスターを制作することができた ・ポスターの描き方についてのヒントや手ごたえを感じている様子だった ・「あつという間に時間が経って楽しかった」という感想があった		

【油絵】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 妹尾中学校	目 標	油絵の基礎を学び、作品を制作する。
		講 師	武本 賢治
		対象者	美術部全学年 17 名
		日 時	①令和7年7月23日(水) 9:00～11:00 ②令和7年7月30日(水) 9:00～11:00
		内 容	油絵の特徴、画材の使い方、作品制作の手順、描き方のテクニック等の話を聞き、静物画を描いた。
成 果	初めて油絵に挑戦する生徒は基本に忠実な作品を、経験のある生徒は個性的な表現の作品を仕上げることができた。		

【現代詩】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 蛭明小学校	目 標	本校児童は、自分の思い・考えを言葉で表現することに苦手意識をもっている。そのため、表現力の向上を図る一環として詩の授業を依頼し、自分の思いを表現する楽しさや開放感を味わわせることが目的である。
		講 師	中尾 一郎
		対象者	1～4年生 48名
		日 時	①令和7年9月16日(火) 9:45～11:35 ②令和7年9月17日(水) 9:45～11:35
		内 容	「五感を働かせて書く」とはどのようなことかを学び、草野心平の詩「春のうた」を読み多様な表現の方法とそのおもしろさを味わい、五感を働かせながら詩を作成した。作成した詩を共有し、友だちの書いた詩の良いところを見つけたり、自分の詩を直したり付けたしたりして完成させた。
成 果	・詩に親しみをもち、学んだことを生かして自主学習で詩を書く児童もいた。また、身のまわりで感じたことを短い文章で表現することができるようになった ・比喩を使って表現するなど、全体的に言葉で表現する力が伸びた。自分の思いを率直に表現し、心を解放した児童も見られた		

【作文】

番号	学校名	講座詳細	
1	和気町立 佐伯小学校	目 標	作文講座を通して、書き方を一から学び、自由に表現することで思いが伝わる作文を仕上げる。家庭学習で行ってきた「意見文」と似ているところや違うところに児童が気づき、自分の思いを伝える順序を構成しながら作文を作成できるようになる。
		講 師	北川 久美子
		対象者	4～6年生 36名
		日 時	①令和7年11月25日(火) 9:35～11:30 ②令和7年12月2日(火) 9:35～11:30
		内 容	[4年生] 決めていた題材に対して、自分の思いをどのように表現すれば良いかの指導と、事前に書いた下書き文章の推敲の仕方。 [5・6年生] 「思うように書く」を大切に書いて書ける喜びを感じる文章を作成。また、書き方の仕組みから丁寧に作成する大切さについて教えていただく。
成 果	どのクラスでも「書きたいことを絞って書く」「伝えたいことを順番を決めて書く」ということを大切に指導いただいた。子どもたちが書きたい内容に寄り添い、思いが出変わらないように指導いただけたことで、子どもたちも納得して作成することができた。		

【話し方】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山県立 岡山支援学校	目 標	実習先や進路先の事業所等に気持ちよく通所や生活をしてゆくため、事業所職員や利用者等とのやりとりをするうえで必要なマナーや言葉遣いなどを知り、実践を通して身に付ける。
		講 師	中村 恵美
		対象者	高等部全学年 6名
		日 時	令和7年12月4日(木) 9:00～9:50
		内 容	・座学として、働くこと、社会で大切なマナー、あいさつとは何かを学習 ・実践として、あいさつのポイント、自己紹介、インタビューを行った ・コミュニケーションに関する質疑応答
成 果	講師からわかりやすくマナーや言葉遣いについて教えていただいたことで、コミュニケーションについて理解を深めることができた。参加した生徒からは「つながりを大切にしていきたい」「そうすることで人間関係が深まると思う」などの話が出た。実際の生活、実習先、進路先で活用していくことができると思われる。		
2	岡山市立 富山中学校	目 標	職場体験に向けて、マナーやコミュニケーションを円滑にするための話し方やふるまいを学ぶ。
		講 師	中村 恵美
		対象者	2年生 125名
		日 時	令和7年10月8日(水) 13:40～14:30
		内 容	・第一印象を良くするためのあいさつとお辞儀の仕方 ・アポイント電話や事前訪問のデモンストレーション
成 果	第一印象を良くするために笑顔で話すことが大切という事を教えていただき、ロールプレイで実践できたことで職場体験への意識を高めることができた。		
3	岡山市立 操南中学校	目 標	職場体験に臨むにあたって、社会におけるルール・マナーを学ぶ。また、事業所での出会いや触れあいを気持ちよく進められるように、必要な心構えを学ぶ。
		講 師	中村 恵美
		対象者	2年生 260名
		日 時	令和7年11月18日(火) 13:40～14:55
		内 容	スライドによるマナーの基本の説明を聞き、体験当日をイメージしながらの事前訪問のロールプレイを行う。言葉のキャッチボールをしながら、職場体験に向けての意欲向上を図った。
成 果	職場体験のみならず日常生活においてもマナーに気を遣っていききたいという感想をもつ生徒が多くみられた。また、心を変えることが未来を変えようという講師の言葉が心に残ったようで、自分の将来にも目を向けることができていた。		

番号	学校名	講座詳細	
4	備前市立 備前中学校	目 標	職場体験に向けての事前学習。
		講 師	中村 恵美
		対象者	2年生 102名
		日 時	令和7年7月8日(火) 9:50～12:40
		内 容	あいさつ、お辞儀、職場訪問の際の話し方や心構えについての説明と実演。
5	和気町立 和気中学校	目 標	教室内で話す声の大きさや言葉遣いが気になる時がある。互いに気持ちの良い意思疎通を図るために言葉遣いの大切さを学ばせたい。
		講 師	中村 恵美
		対象者	1年生 83名
		日 時	令和7年7月4日(金) 13:35～15:25
		内 容	・あいさつのポイント説明、発声練習、CMコメント読みに挑戦 生徒同士でインタビューを行い「話すこと」だけでなく「聞く(聴く)こと」の大切さについて学習
成 果	あいさつの仕方を意識することや表現を豊かにしようとする様子が見られ、気持ちの良い円滑なコミュニケーションとはどのようなものか考える姿も見られるようになった。		

【対話型鑑賞法】

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 岡北中学校	目 標	対話を通して鑑賞力を高め今後の創作活動にもつながる学びを体験をする。
		講 師	片山 眞理、金万 純子、武本 賢治、石川 祐子
		対象者	美術部全学年 20名
		日 時	令和7年7月26日(土) 9:30～10:30
		内 容	4グループに分かれて対話型鑑賞を行うツアーを体験。
成 果	作品をじっくり鑑賞し、他の人に自分の解釈を伝えることで考えを広げたり深めたりする力がついたと感じる。		
2	岡山市立 牧石小学校	目 標	美術作品の鑑賞を通して、自分の感じたことを言葉にし、友だちの見方や考え方に触れる。
		講 師	片山 眞理、金万 純子、土師 浩子、板東 美都子
		対象者	3年生 39名
		日 時	令和8年2月10日(火) 10:40～12:20
		内 容	・ガイダンス 全員で対話型鑑賞 ・グループでの対話型鑑賞 ・感想の共有とまとめ
成 果	「みる→考える→言葉にする→聞く→みる」のサイクルの対話を大事にしながらか絵を楽しく見ることを教えていただいた。児童は絵を見ながら楽しそうに「話す」「聞く」ができていて、絵からだけでなく、これからの多くの場面で生かされると思う。		
3	総社市立 総社中学校	目 標	絵画の印象や何が描かれているかを他者と話し合うことで、作品についてじっくり見たり、想像しながら深く鑑賞する方法を知る。いろいろな見方をすることで、鑑賞のおもしろさを感じる。
		講 師	片山 眞理、磯田 敏子、中村 美南子
		対象者	美術部全学年 10名
		日 時	令和7年8月21日(木) 10:00～11:00
		内 容	・気になる作品を選び「なぜ気になったのか」を話し合いながら、描かれている色、形、何を表しているのかを考えじっくりと鑑賞した ・自分の感じたことを言語化することで、自分の感じたことが何なのかを確認し、人に伝えるための工夫をした
成 果	自分が最初に感じた印象が他者の考えや意見を聞くことで、違う見方に気付くことができ更に深く感じる事ができていた。意見交換をすることで見方や視野を広げることができた。		
4	学校法人就実学園 就実小学校	目 標	美術作品の鑑賞を通して、自分の感じたことや考えたことを言葉にし、友だちの見方や考えに触れる。対話を重ねるなかで、作品をよく見て考えることや、他の人の意見を聞くことの大切さに気付くとともに、多角的な見方や考え方もつ機会につなげる。
		講 師	片山 眞理、金万 純子、武本 賢治、山田 真理子
		対象者	3年生 61名
		日 時	令和8年2月24日(火) 8:50～10:30
		内 容	・ガイダンス 対話型鑑賞 ・グループごとの鑑賞 ・振り返り
成 果	子どもたちからたくさんのお考えが生まれた。みんな意見が違うからこそおもしろいという感想もあり、最後はまだ見たかった、また実施したいとの声もあがった。		
5	華鶴大塚美術館	目 標	博物館学芸員資格取得に励む学生を対象に実施。作品を楽しむこと、観察力や思考力、コミュニケーション力などの向上、自己肯定感の高まり、他者理解、価値観の多様性における視点の理解や共感を実践を通して知る。合わせて美術館をはじめとする多くの場所で活躍する人々の様子に触れ、博物館の社会的役割や存在について考える。
		講 師	片山 眞理、金万 純子、山田 真理子、磯田 敏子
		対象者	大学生 51名
		日 時	①令和7年12月11日(木) 10:50～12:20 ②令和7年12月18日(木) 10:50～12:20
		内 容	・ガイダンス ・チョイス鑑賞 ・全体で対話型鑑賞 ・グループで対話型鑑賞 ・グループで振り返りと全体共有 ・まとめ
成 果	対話型鑑賞法は積極的な発言があり、雰囲気よく進行。多角的な視点や多様な価値観の出合いは刺激となったと感じる。また、講師のいきいきとした姿にも関心を寄せてくれて博物館活動における、様々な人との連携について考える機会となった。「学校出前講座」の仕組みも学ぶ教材となりとても良かった。		

学校出前講座講師所感

森 晃朗（伝統文化部門／茶道）

この度、同じく登録講師である妻と共に初めて茶道の出前講座をさせていただきました。

当日は、お茶の歴史、特に千利休について話をし、「和敬清寂」「一期一会」が今の私たちの生活にも生かせる言葉として紹介しました。その後、みんなで座り方、お辞儀の仕方、歩き方などを行い、お菓子を食べ、実際に腰ひもと服紗を付け、一人ひとりが茶碗を温め、茶筌を振り、お茶を点てて飲み、茶道の雰囲気味わってもらいました。苦いので薄く点てた子、しっかり濃くした子、自分の思いどおりに点て「おいしい」「苦いけど楽しい」など、それぞれの感想をうれしく聞きました。

こうして日本の伝統文化に接する機会が増えることを願いつつ、素直で明るい子どもたちに関われた喜びを感じた、良い一日となりました。



丸山 昌子（伝統文化部門／七宝）

小学校での七宝体験講座では、「感性を育てるものづくり」を大切にしています。技術の習得だけを目的とせず、自由な発想とオリジナリティを尊重し、一人ひとりの感じ方や個性を形にすることを重視しています。工芸という世界に触れることで、色や素材の美しさを体感し、自分の内側にある想いを表現する喜びを知ってほしいと願っています。

体験中は、堅苦しい指導に偏らず、初めてでも安心して挑戦できる雰囲気づくりを心がけ、楽しみながらのびのびと制作できる環境を整えています。次世代を担う子どもたちの感性を磨き、創造する力を育めるような講座を目指しています。子どもたちの素直で可愛い態度に触れて、こちらもとても楽しく講座を進めることができました。



市 将江（一般文化芸術部門／吹奏楽）

普段は県内外の各地で、小学生から一般の方まで幅広くユーフォニアムのレッスンをを行っています。私は約40年前の中学校で、当時としては吹く人が少なかったユーフォニアムに出会いました。高校、音楽大学で夢中になって練習し、さらに夢を追い続けるように渡米。世界一の指導者のもとで技術を研鑽し、世界大会の入賞など経験と実績を重ねていきました。

その経験を生かし、レッスンでは、最初に困っていることや疑問を聞くようにしています。今まで世界中の先生から学んだことや、自分が中高生の時にレッスンしてほしい内容を、笑いを交えながらも具体的に伝えることを意識しています。ありがたいことに生徒から「楽しくてわかりやすい」「すぐに良い音に変わった!」という声をいただきうれしく思います。



金万 純子（一般文化芸術部門／対話型鑑賞法）

「(一社)みるを楽しむ!アートナビ岡山」の仲間と共に、出前講座を行っています。アート鑑賞を楽しくワクワクしたものにするために、本講座では「みる・かんがえる・はなす・きく」の繰り返しのなかで作品の見方を深めていく対話型鑑賞を体験してもらいます。1作品に15分程度かけて、みんなで作品をじっくり観察して、気付いたことや自分の思いを言葉にして、友だちの意見に耳を傾けながら新たな発見を広げていきます。

子どもたちの自由な発想と素直な発言には、私も大きな元気をいただいています。講座後、「みんなで見たほうが楽しい」「友だちの考えが自分と違っておもしろい」といった感想が届くたびに、活動のやりがいを感じています。この講座が、子どもたちの豊かな感性の種まきになると信じ、今後も取り組んでまいります。



編集・発行



公益社団法人

岡山県文化連盟

〒700-0814 岡山市北区天神町8-54
岡山県天神山文化プラザ内
TEL.086-234-2626 FAX.086-234-8300
URL <https://o-bunren.jp>